

取扱説明書

うすまきオート播種機

HK168



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず
本取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをする
と、事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

はじめに

このたびはうすまきオート播種機をお買い上げいただき、ありがとうございました。この取扱説明書は播種機の正しい取扱い方法、簡単な点検及び整備について説明しています。ご使用前によくお読みいただき十分理解され、本機が優れた性能を発揮し、かつ安全で快適な作業をするため、この冊子をご活用ください。また、お読みになった後必ず大切に保存し、わからない事があった時には取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品と、この説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 安全第一

本書に記載した△の表示がある注意事項は、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読み必ず守ってください。

◇注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意項目について次のように表示しています。

警告：注意事項を守らないと死亡又は重傷を負うことになるものを示します。

注意：注意事項を守らないとけがを負うおそれがあるものを示します。

重要：注意事項を守らないと機械の損傷や故障のおそれがあるものを示します。

補足：使用上役にたつ補足説明をしています。

サービスと保証について

ご使用中の故障やご不審な点、及びサービスについてのご用命はお買い上げいただいた販売店・JAにお気軽にご相談ください。

その際、型式名と製造番号をあわせてご連絡ください。

機械の改造は危険ですので、改造しないでください。改造した場合や取扱説明書にのべられた正しい使用目的と異なる場合はメーカー保証の対象外になります。

△安全に作業するために	△-1
1. 仕様と各部の名称	1
2. 組立要領	2
(1) スタンドの組み立て	2
(2) モミウケの取り付け	2
(3) カンスイウケの取り付け	2
(4) オーバーフローパイプの取り扱い	2
3. 作業前の準備	3
(1) 資材所要量の計画	3
(2) 資材の選定	3
(3) 種もみの準備	3
4. 試運転と調節	4
(1)～(4) 機械の据え付け、各部の接続	4
(5) 機能確認	4
(6) 作業能率の切り換え	5
(7) かん水量の設定	5～6
(8) 播種量の調節	7
(9) 覆土量の調節	8
(10) 覆土部クリダシベルトの調節	8
(11) 覆土スクレーパの使用について	8
5. 作業	9
6. 作業後の手入れと点検	10
7. 故障の診断と処置	11
8. アタッチメント紹介	13
9. かきとり面積・播種量早見表	14
10. 純正部品表	15

△注意 安全に作業するために

本機をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み理解したうえで安全な作業をおこなってください。安全に作業するため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記のとおりですが、これ以外にも本文の中で「△注意」として説明のつど取り上げております。

1. 機械の組立て時

- (1) 機械が倒れ、下敷きになるおそれがありますので、スタンドをボルトで固定するまでは、機体にもたれる等の外力をくわえないこと。
- (2) 感電や巻き込まれ、指詰め等のおそれがあるので、組立完了まで電源プラグをコンセントに接続しないこと。

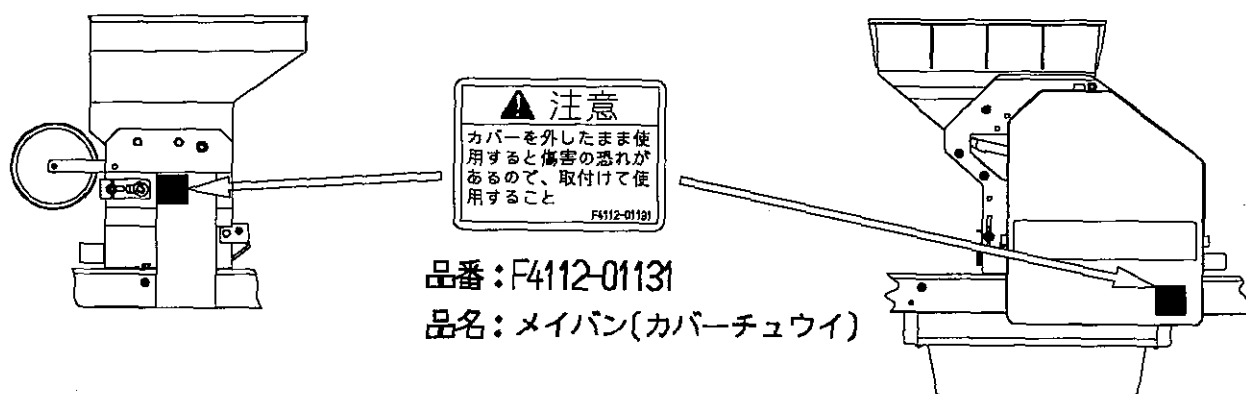
2. 作業まえに

- (1) 安全な服装をすること。だぶついたズボンや上着などは回転部分に巻き込まれやすく、大変危険です。

3. 作業中に

- (1) 試運転は一人でおこないます。複数でおこなうと予期しない時に機械が動きはじめ大変危険です。
- (2) 作業者以外の人を近付けないようにします。おもわぬ所にふれる等の危険があります。特に子供に注意してください。
- (3) 建物のブレーカが落ちたり、モータがストップした時はすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをぬいた上で故障の原因をさぐります。機械がふいに動きはじめるのを避けるためです。
- (4) 巻き込まれ、指詰め等の危険がありますので、カバー類はとりはずしたままで作業しないこと。

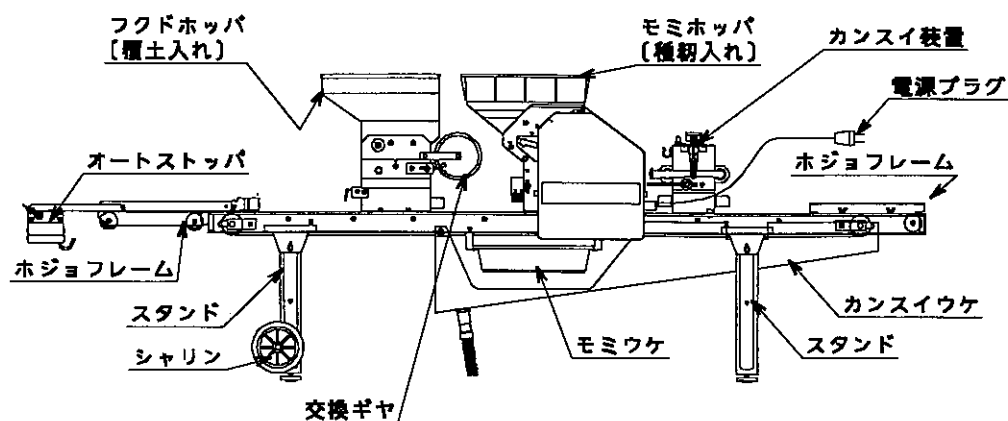
4. 注意ラベルとその取り扱い



◆ 注意ラベルの取り扱い

- (1) ラベルがよごれている場合は石鹸水で洗い、やわらかい布でふいてください。
- (2) 破損や紛失したラベルは購入先で購入し、とりかえてください。
- (3) ラベルが貼り付けられている部品を交換する時は、ラベルも同時に交換してください。

1.仕様と各部の名称



仕上がり ← 覆土 ← 播種 ← かん水

仕様

型 式	H K 1 6 8	
機体寸法 (mm)	全 長	2 6 5 1 (格納時 : 2079)
	全 幅	5 1 0
	全 高	8 9 4
量 (Kg)	4 8	
初ホッパー容量 (リットル)	1 8	
土ホッパー容量 (リットル)	1 9	
種 量 (g)	8 0 g ~ 2 5 0 g	
駆 動 方 式	駆 動 モ ー タ (AC100V, 40W, 1/180)	
能 率 (50/60Hz) (連続作業)	低速 : 120/140 箱/時 高速 : 160/200 箱/時	

2. 組立要領

(1) スタンドの組立て

- 梱包から本機を取り出し、たたんであるスタンドを開きます。
付属のチョウボルトを使い、4ヶ所しっかりと固定します。

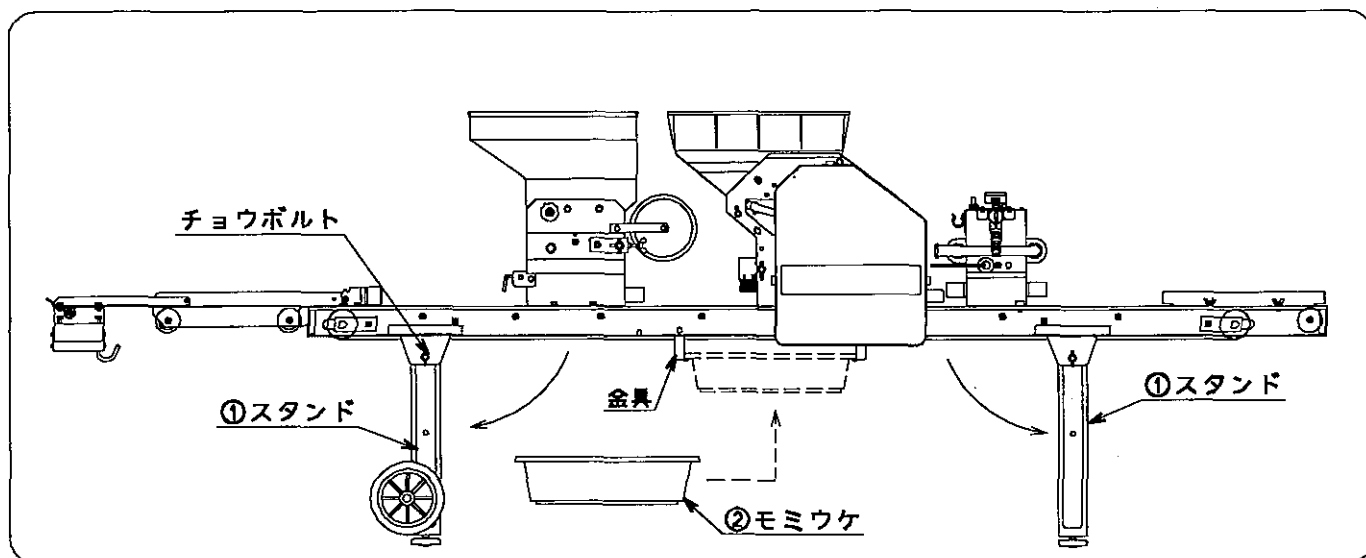


注意

機体は重いので、固定するまでは機械をゆらさぬ様
注意しながら作業してください。〔転倒によるケガ〕

(2) モミウケの取り付け

- 播種部の下にモミウケを取り付けます。
入りにくければ、金具を少し動かしてください。

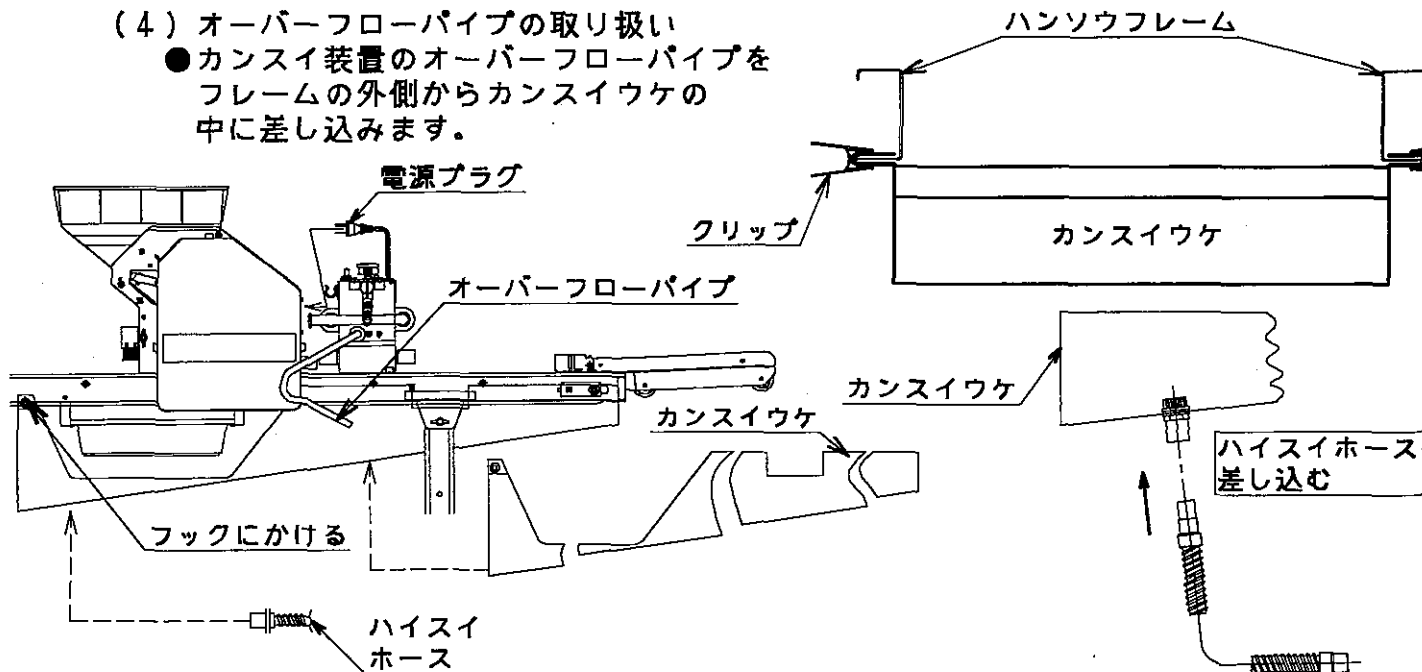


(3) カンスイウケの取り付け

- カンスイウケを図の位置に組み付けます。
付属のクリップを使いフレームにはさみこみます。
左右各1箇所はフックにかけます。
- カンスイウケにハイスイホースを差し込みます。
- かんすい装置の電源プラグを播種部のコンセントに差し込みます。

(4) オーバーフローパイプの取り扱い

- カンスイ装置のオーバーフローパイプを
フレームの外側からカンスイウケの
中に差し込みます。



3. 作業前の準備

1) 資材所要量の計画 ----- 下表を参考にして10アール当りの所要量を算出します。〔一般的数値〕

		稚 苗 の 場 合							中 苗 の 場 合						
条 間	c m	3 0							3 0						
株 間	c m	1 2	1 4	1 6	1 8	2 1	2 4	2 8	1 2	1 4	1 6	1 8	2 1	2 4	2 8
植 付 株 数	株/坪	90	80	70	60	50	45	40	90	80	70	60	50	45	40
1箱の苗の植付株数		1 5 0 8 株(横26回×縦58回)							7 8 0 株(横20回×縦39回)						
1箱あたりの量		床土3.3 ㍓ 覆土1 ㍓ 種籾0.2kg							床土3.3 ㍓ 覆土1 ㍓ 種籾0.1kg						
育 苗 箱	箱	1 8	1 6	1 4	1 2	1 0	9.1	8.1	3 5	3 1	2 7	2 3	1 9	1 7	1 6
床 土	㍓	6 0	5 3	4 6	4 0	3 3	3 0	2 7	1 3 3	1 1 8	1 0 3	9 2	7 2	5 6	5 3
覆 土	㍓	1 8	1 6	1 4	1 2	1 0	9.1	8.1	3 5	3 1	2 7	2 3	1 9	1 7	1 6
選別後の種籾	k g	3.6	3.2	2.8	2.4	2.0	1.8	1.6	3.5	3.1	2.7	2.3	1.9	1.7	1.6

2) 資材の選定

◇pH4.5～5.5の酸性土壌	◇よく乾いた土・・・含水率で20%以下
◇透水性と保水性のよい水田の土もしくは山土	◇砕土された土・・・4～6ミリ目のふるいをとる
適した土・・・砂壤土、壤土、埴壤土	
不適な土・・・砂土、埴土、畑土、雑菌の多い土	◇人口床土・・・透水性のよいもの

◇よく乾いた土・・・含水率で13%以下	育 苗	◇プラスチック製が原則・・・クボタ純正品
◇砕土された土・・・4～4.5ミリ目のふるいをとる	箱	◇箱の種類をそろえる・・・機械の再調整が必要
		◇歪み、そりが少ない事・・・機械が対応できず

3) 種もみの準備

重要 ●脱芒
播種精度を確保するため脱芒機を使って芒、枝梗をとります。
(スズック脱芒機：SD-38, SD-70, SD-170をご使用ください)

重要 ●比重選別
良い種籾をえらぶために比重選別をおこないましょう。
比重液のつくりかたは右図参照。

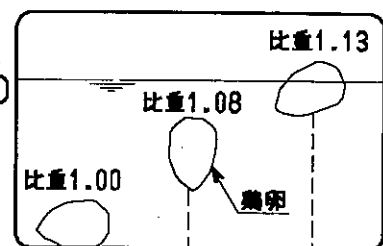
●消毒：種子消毒をおこないましょう。
(地区の育苗指針に従う)

重要 ●侵種、催芽
種子は芽だしをしないで下さい。
芽の伸びすぎは播種精度を悪くし、出芽の障害にもなります。

重要 ●水きり
催芽した種籾は、播種機にいれる前に十分に水きりをします。
種籾をつかみ開いた時に手の平につかない程度がよい。

※方法
アミ袋にいれ、洗濯機の脱水槽の利用やムシロで陰干しを
してください

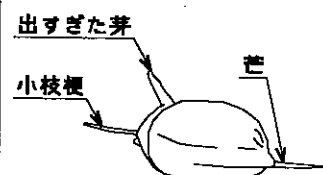
比重液のつくり方



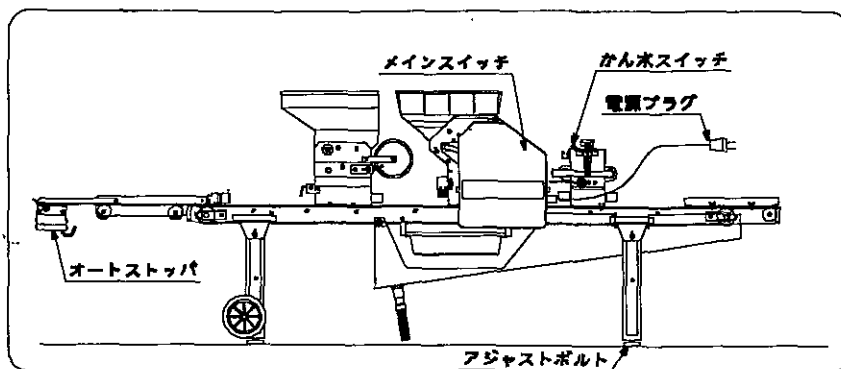
	も ち	う る ち
食塩の場合	約1.4kg	約2kg
硫酸の場合	約2kg	約3kg

※水10リットル当りの量

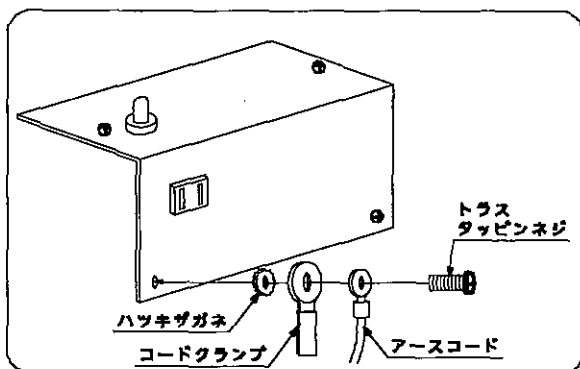
悪い種籾



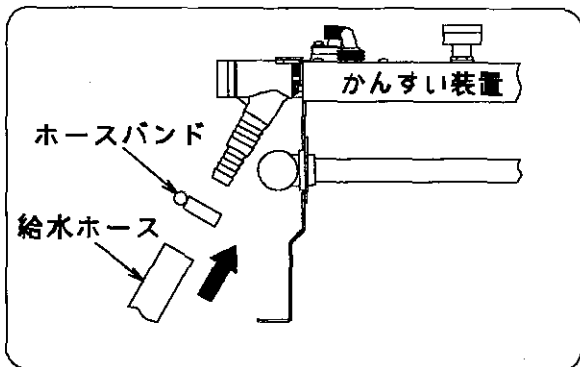
4. 試運転と調節



- (1) 機械の据え付け
- 平らな場所を選び、全体が水平になるよう4ヶのアジャストボルトで調節します。水準器を利用すると簡単です。



- (2) アースコードの接続
- 播種部左図の位置にアースコードを接続します。



- (3) 給水ホースの接続
- かんすい装置に水道またはポンプから給水ホースをつなぎます。給水ホースは付属のホースバンドで抜け止めします。
- (4) 電源プラグの接続
- 電源プラグをAC100Vコンセントに差し込みます。

(5) 機能確認

- 実作業の前に、播種機各部の動きを確認します。異常があれば頁11の「故障の診断と処置」を参照願います。

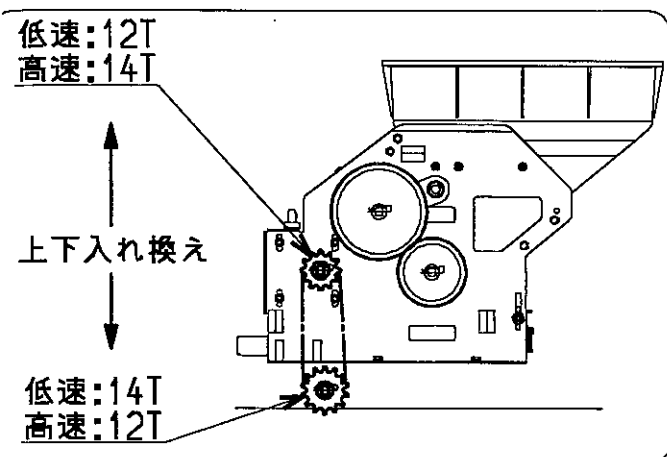


注意

試運転は一人で行います。二人以上ですると、予期しない時に機械が動き危険です。

メインスイッチを入れる

搬送部：Vベルトが動く。播種部：播種ロールがまわる。覆土部：クリダシベルトがまわる。
かん水部：スイッチをいれるとかん水パイプから水が出る。
：スイッチをいれないとオーバーフローパイプから水が出る。
箱取りセンサーを押すとすべて停止する。かん水はオーバーフローパイプから水が出る。



(6) 作業能率の切り換え

- 出荷時は低速にセットしています。
播種部のカバーを外してベーターピンを抜きます。スプロケットを上下入れ換えて高速に切り換えます。

低速	:	120 箱/時(50Hz)
		140 箱/時(60Hz)
高速	:	160 箱/時(50Hz)
		200 箱/時(60Hz)

(7) かん水量の設定

- 床土のかん水量は、土の種類や乾燥状態、育苗箱の種類などにより異なります。かん水量は十分な調節をしていないと、湿害や水不足をおこす恐れがあります。出芽、成育に支障をきたすことのないよう特に以下の点に注意してください。

1. 床土の水分

土の限界含水分量を100%とした時、種が出芽する時の適当な水分は90~100%です。乾いた土は多めに、湿った土は少なめにかん水します。かん水量が多くなると湿害をおこし、水不足は初めの根あがりをまねきます。

2. 箱の種類

木箱の場合は木材が水を吸収しますので、やや多めのかん水が必要です。

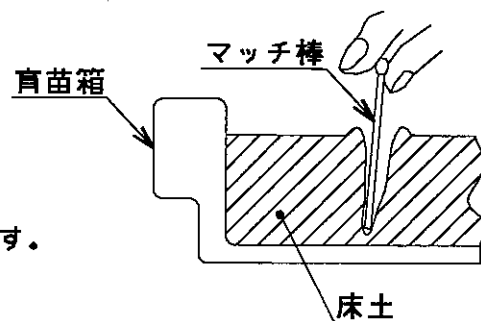
3. かん水量の確認

播種作業の前には、毎回実際に使用する土を使って、試験かん水をおこなってください。確認なしで作業に入るとは育苗上たいへん危険です。

よいかん水状態とは？

かん水後3~5分たって水がやや落ち着いたときマッチ棒などで床土をほり、水の浸透状態を調べます。この時、底の土に水がにじんでいる所と、そうでない所があるぐらいが良いです。
[時間の経過によって水がゆきわたるくらい]床土がどろ状になっていれば、かん水過多です。

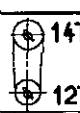
- メインスイッチとカンスイスイッチをONにします。
- かん水装置のツマミ(コック)を全開にします。
- 水道のコックを開きます。(使用水压よりもやや多目に開く)
※水道のコックを全開にするとホースが破裂する場合があります。



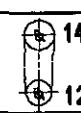
- 例として60Hz地区低速時のかん水で1箱当り1300cc行うとします。水道のコックの開き具合を調節し水圧を0.03~0.04に合わせます。次にかん水装置のツマミを少し締めて水圧を0.02に合わせます。
- 土のはいった育苗箱を1箱かん水部を通過させます。
- 水の浸透具合をチェックします。
- 過不足があれば目盛をかえて、よい状態になるまでくりかえします。
〔床土の質にあったかん水量を決めてください〕

カン水量目安表 (cc)

50Hz地区用

水圧 目盛 (MPa)	低 速 		高 速 	
	1本かん水	2本かん水	1本かん水	2本かん水
0.005	800	—	600	—
0.01	1050	—	800	—
0.02	1550	—	1050	—
0.03	1800	1850	1300	—
0.04	—	2150	1550	—
0.05	—	2500	1800	1850
0.06	—	—	—	1950
0.07	—	—	—	2150
0.08	—	—	—	2250
0.09	—	—	—	2400
0.1	—	—	—	2500

60Hz地区用

水圧 目盛 (MPa)	低 速 		高 速 	
	1本かん水	2本かん水	1本かん水	2本かん水
0.005	650	—	500	—
0.01	850	—	650	—
0.02	1300	—	950	—
0.03	1500	—	1100	—
0.04	1750	1800	1300	—
0.05	—	2100	1500	—
0.06	—	2250	1600	—
0.07	—	2450	1750	1800
0.08	—	2550	—	1900
0.09	—	—	—	2000
0.1	—	—	—	2100

* 上表のカン水量は目安です。必ずカン水量を測定してから作業して下さい。
 * カンスイメイパンは使用される地区(電源周波数50Hz, 60Hz)に合わせて、かん水装置のカバーに貼り付けてください。

補足

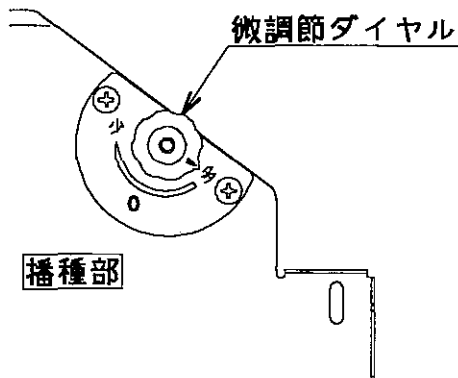
ガムテープ等を底に貼った苗箱を1箱通過させ、受けた水量を計れば実際に供給する量が測れます。重量計では1g/1ccで換算します。

(8) 播種量の調節

- ① 播種量はギヤの組み合わせで決まります。下表より選択します。
出荷時は5速にセットしています。

播種量目安表 (催芽初)		1	2	3	4	5	6	7	8
		40 66	44 62	47 59	51 55	55 51	59 47	62 44	66 40
	g	80	100	120	140	160	190	220	250
	cc	128	160	190	220	250	300	335	370
	合	0.72	0.89	1.06	1.22	1.39	1.67	1.86	2.06
		出荷時							

* 種子の状態により播種量は変化しますので、計量のうえ微調節ダイヤルで加減してください。



② 微調節ダイヤルを「0」の位置に合わせます。

③ 切換レバーを「標準初」側にセットします。

④ 播種部のカバーを外します。

⑤ 覆土部に収納された交換ギヤを希望の播種量の組み合わせに交換します。
ギヤに歯数が表示していますので確認のうえ差し込みます。

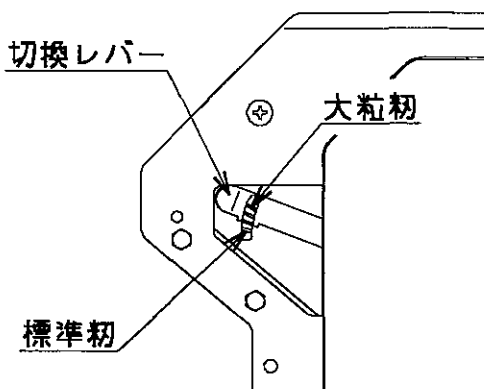
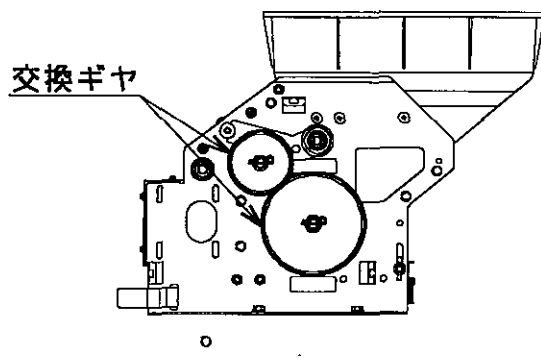
⑥ 必ずカバーを元通り組み付けます。

⑦ 空箱に3～5Kgの重りを入れ播種量を測定します。

{ 播種量が希望通り出ない場合 }

⑧ 10g前後の過不足なら、微調節ダイヤルを「多」又は「少」側に回し再度測定してください。

⑨ 20g前後の過不足なら、ギヤの組み合わせを1速上げるか下げて再度測定してください。

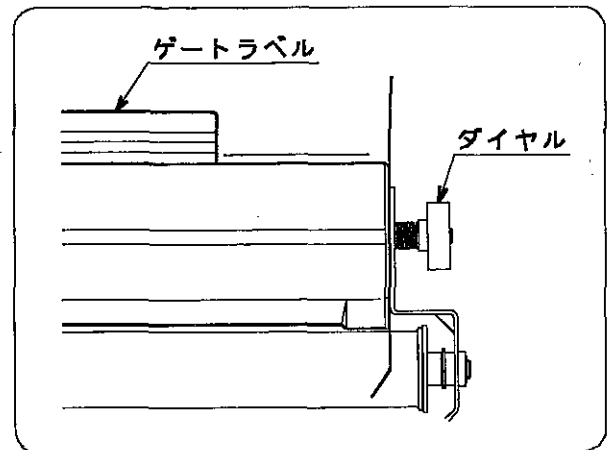


⑩ 初が酒米等の大粒初の場合は切換レバーを「大粒初」側にセットします。
又、芽の出過ぎた初、初の流れが悪い場合もこの方法を使います。

(9) 覆土量の調節

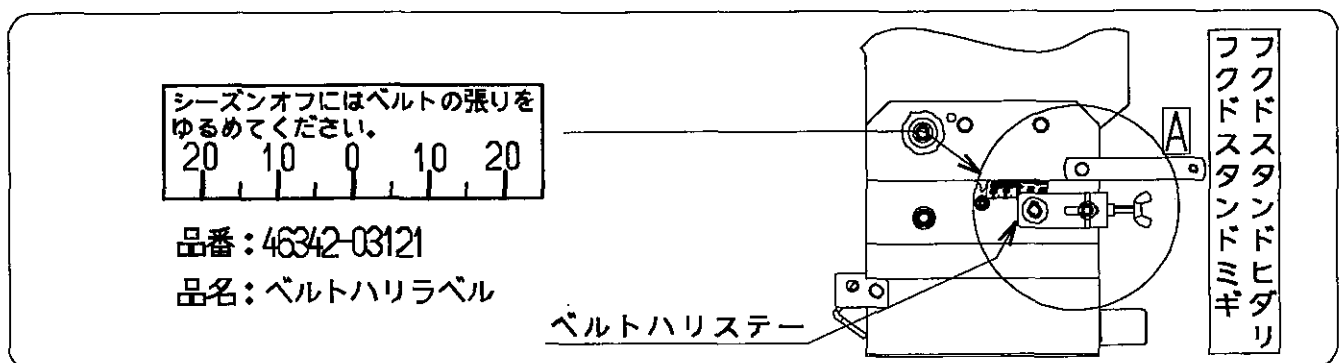
- 土ホッパ部のダイヤルを回し、土の繰り出し量を調節します。
種初が覆土にかくれる程度が適当です。

補足 適正位置をゲートラベルにボールペン等で目印をつけておけば次の参考になります。



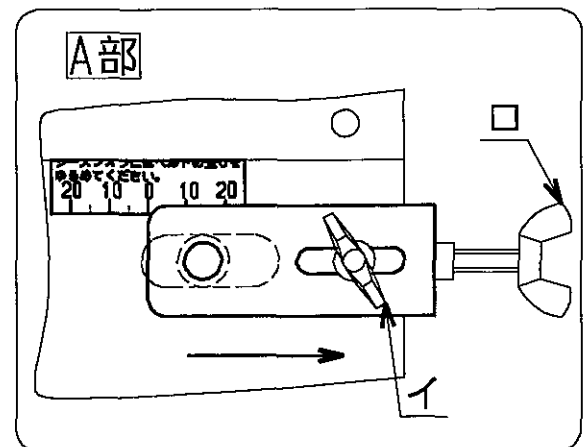
(10) 覆土部クリダシベルトの調節

- 本品はクリダシベルトの張り代の調節を簡単に行う為にフクドスタンドミギリ(図:A部)にベルトハリラベルを貼り付けています。

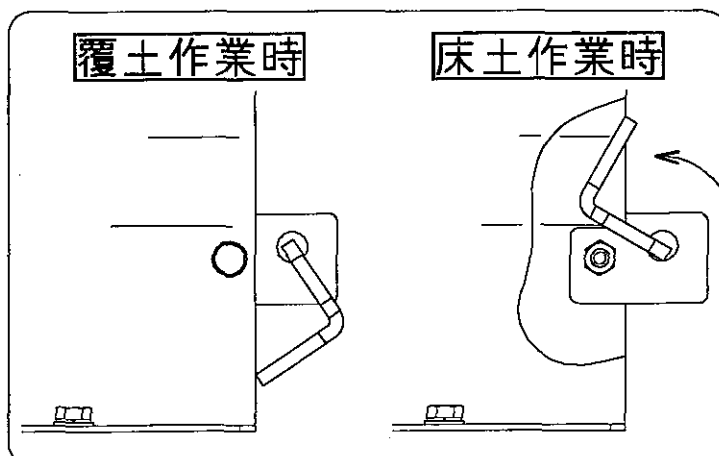


◇使用時

クリダシベルトを図の様にメイバンの0に合わせ張って下さい。
ベルトがスリップするようならイのチョウボルトを緩めて
口のチョウボルトでベルトハリステアーを
矢印方向へ動かしベルトを張り、
イのチョウボルトで固定します。



注意 左右共に同じメモリ位置に合わせて下さい。
(クリダシベルトの片寄りの原因になります。)



(11) 覆土部スクレーパの使用について

- 覆土作業を行う時はスクレーパを「覆土作業時」の位置で使用して下さい。
本機で床土作業を行う時はスクレーパを「床土作業時」の位置で使用して下さい。

各部の調節が終わりましたら、連続作業にはいる前に4～5枚の箱を通し、最後の確認を行いましょう。特に初めの場合は必ず実行してください。

5. 作業

作業中に注意してほしいこと

⚠ 注意
作業中、作業員以外の人には近付けないこと。
特に子供に注意！

カバー類は必ず取り付けて運転すること。
搬送部のベルト等に触れないこと。
特に手袋は巻き込まれやすいので注意！

◇ 停電時の処置
スイッチを切り電源プラグを抜く。

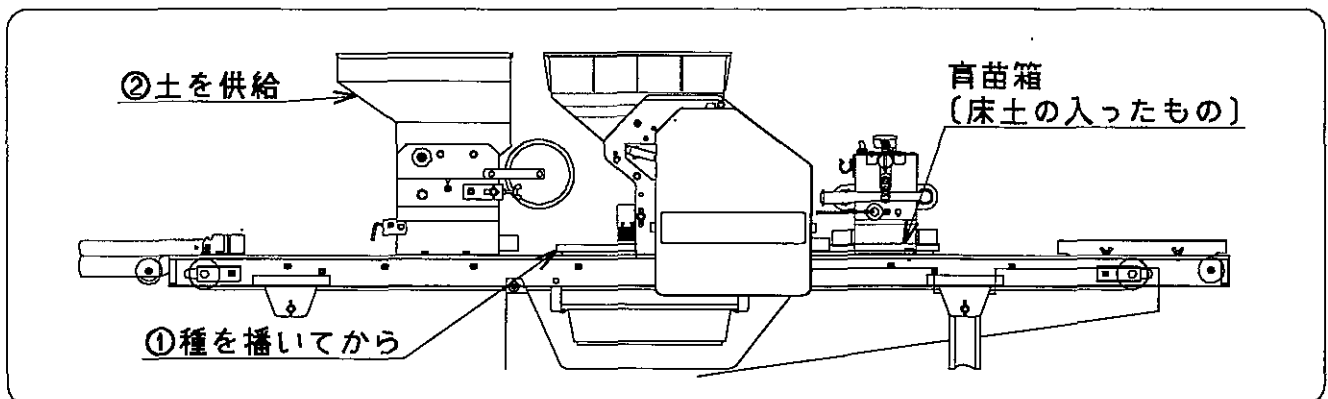
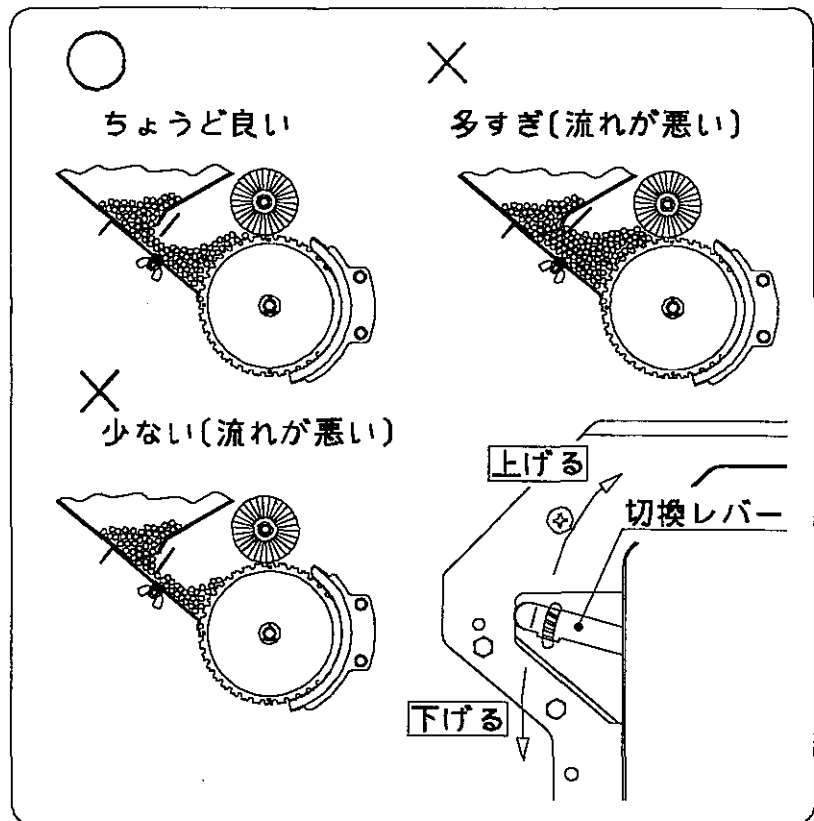
◇ 異常時の処置
まずスイッチを切り電源プラグを抜き
頁11「7. 故障の診断と処置」をみて
異常原因を取り除く。

作業中に守ってほしいこと

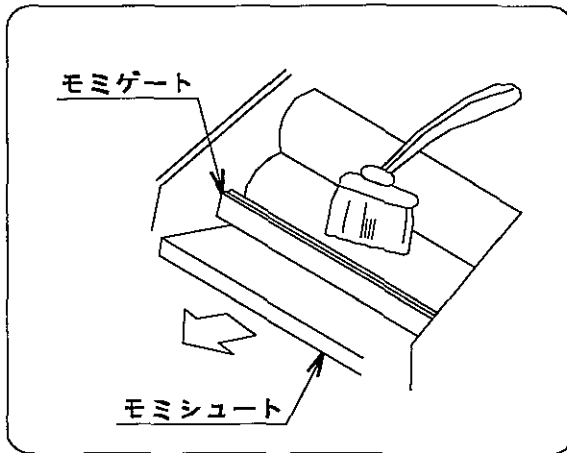
- (1) モミウケに入った初は直接ホッパに返さないこと。水洗いをして乾燥させてから入れること。
- (2) ホッパから下に落ちた土は直接ホッパに返さないこと。適度の乾燥と異物の混入がないか確認してから返すこと。
- (3) 土、初量は作業中でも変化します。常に仕上がり状態に注意をはらってください。

☆ 播種作業のこつ

- 1) 播種精度を良くするためには初が適度な量で供給されることが大切です。
右図の状態になるよう初の水分量や切換レバーの位置を確認します。
- 2) 枝硬の状態、芽の出過ぎ等の初の仕上がりが悪い時は初を播種機のホッパに入れ、ロールを回転すれば良い初のみ通します。
ホッパに残った初は使えません。
- 3) かん水装置の位置を調節し、土表面の水が引くまぎわに初を落とせば、良い播種状態が得られます。
- 4) 最初の育苗箱(床土の入ったもの)に種初を播いてから覆土ホッパ内に土を供給して下さい。
(無駄な土を下にこぼさない為)



6. 作業後の手入れと点検



(1) 播種部の清掃

- ① モミシュート裏のチョウナットをゆるめ、シュートを引き出し、残った籽を下に落とします。(モミウケに入れる。)
- ② ホッパを外し、モミゲートを動かしながら付属のハケ等で籽を掃き出します。この時、播種ロールを回転させながら掃除すると簡単に出来ます。



注意

- ・手は入れないこと！
- ・巻き込まれや切りキズの恐れあり。
- ・手袋、軍手はしないこと。

(2) 覆土部の清掃

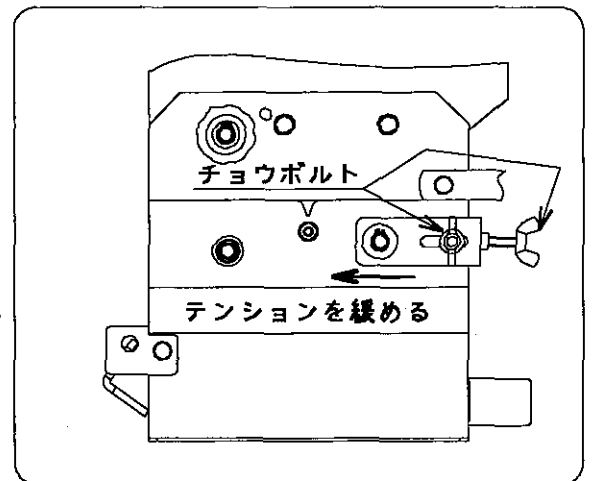
- ① ホッパ内の土を全部出します。
水洗い可能ですので、こびりついた土は洗い流して下さい。
- ② フリダシベルトを長持ちさせるため、チョウボルトをゆるめて、ベルトのテンションをゆるめておきます。

(3) 搬送部の清掃

- ① フレームやベルトについた泥を水洗いで落とします。
- ② ベルトを長持ちさせるため、ベルトのテンションをゆるめておきます。

(4) その他

- ① チェーンやジクウケには油をさしておきます。
- ② 傷んだ部品は次のシーズンのために、交換してから保管しましょう。



注意

シーズン前には必ずベルトを張って下さい

(5) かん水部の手入れ

- ① かん水部内部に真水を通します。薬剤ポンプ(オプション)を使用した場合は真水をポンプで吸わせて薬を完全に洗い流してください。
- ② かん水部の白いゴム栓をぬき、水ぬき用のゴムキャップも外し、内部の水を完全にぬきます(凍結防止)。
- ③ カンスイパイプをはずし、付属のパイプクリーナーで内部を掃除します。
- ④ もと通り組付けます。



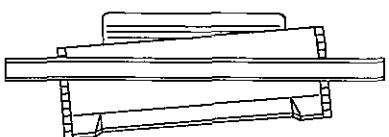
注意

モーター部、スイッチ部は水をかけないこと！

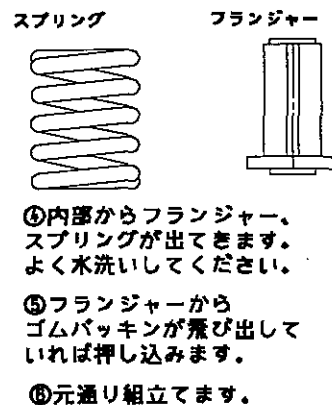
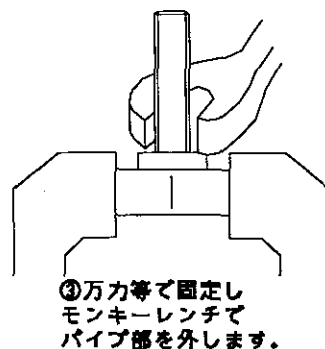
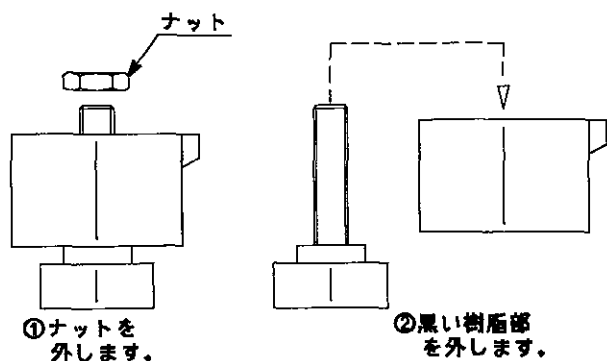
(6) 保管

- 乾燥した、直射日光のあたらない場所に、ホコリがかからないようにカバーをかけて保管してください。
- 特に、播種部にはネズミが入らないようにフタをするなど工夫をしてください。

7. 故障の診断と処置

現象	原因	処置
モーターが動かない	(1)電源コードの入れ忘れ。 (2)スイッチが「ON」になっていない。 (3)オートストッパーの上に育苗箱がある。 (4)オートストッパーコードの接続抜け	(1)電源コードを入れる。 (2)スイッチを「ON」にする。 (3)オートストッパー上の育苗箱を取り除く。 (4)接続する。
播種ムラになる	(1)種初処理が適切でない。 ①枝梗が付いている。 ②芽が出過ぎている。 ③種初が湿っている。 (2)播種ロールが湿っていて 初が付着する。 (3)初の流れが悪い。 ・湿っている。・芽が出過ぎている。 ・枝梗が多い。・初が大粒。 (4)播種ロールの回転ムラ	(1)以下の処理をする。 ①枝梗が付いている種初を取り除く。 ②陰干しをする。 (2)ホッパー内の種初をいったん取り出し 播種ロールを乾いた布で清掃する。 品種切り替え時、作業終了後必ず 清掃してください。 (3)頁9「播種作業のこつ」参照 (4)回転部に注油する。 ①軸と軸受けブッシュ部 ②各部チェーン
水が出ない、水の出が悪い	(1)本機スイッチが「ON」になっていない。 (2)カンスイスイッチが「出」になっていない。 (3)水道の蛇口が開かれていないか、 かん水装置の蛇口が開かれていない。 (4)ストレーナの目詰まり。 (5)カンスイパイプの目詰まり。 (6)ノズル内にエアが入る。 (7)電磁弁が作動しない。	(1)本機スイッチを「ON」にする。 (2)かん水の電源コードを播種部コンセントに 接続し、カンスイスイッチを「出」にする。 (3)水道の蛇口、かん水装置の蛇口を開く。 (4)ストレーナを清掃する。 (5)付属のパイプクリーナーでパイプ内を清掃する。 〔ゴムホース内の水アカを取除くか、 新しいホースを使用ください〕 (6)薬液吸入口にゴムキャップをする。 (7)電磁弁を分解して内部のゴミ等を取除く。 〔次頁：3P電磁弁の分解・整備方法をご覧ください。〕
土が均一に出ない	(1)土が湿っている。荒い。 (2)ゲートが左右平行に開いていない。 〔チョウセツジクとゲートのラック がずれている〕 	(1)土を乾燥させ、フルイにかける。 (2)チョウセツジクを抜いてゲートラベルを参考に 正しく組み直す。 

* 3P電磁弁の分解整備方法

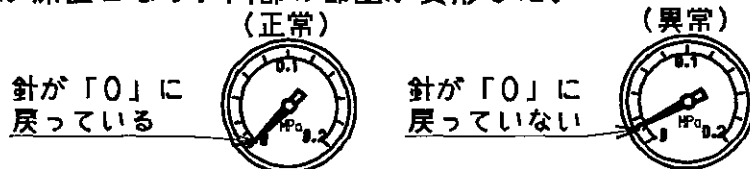


* 水圧計の針が「0」に戻らない場合の対処方法

{原因}

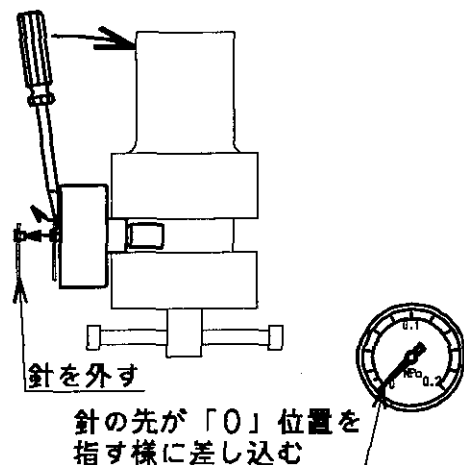
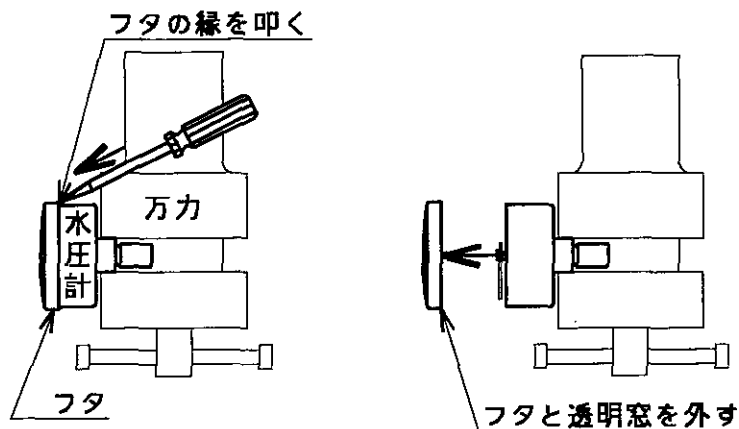
- ・ かん水装置（水圧計）内部に残った水が冬季凍結した。
- ・ 急激に高い水圧がかかった。
- ・ 落下等の大きな衝撃が加わった。

これらが原因となり、内部の部品が変形した。



{修復方法}

1. 水圧計をかん水装置から取り外す。
2. 万力等で水圧計をしっかりと固定する。
3. マイナスドライバー等の先を水圧計のフタの縁に当ててハンマーで軽くマイナスドライバー叩きフタをずらしていく。叩くのは1箇所ではなく、円周上数箇所平均に叩くこと。
4. フタと透明窓を外す。
5. 針をマイナスドライバー等でこじて抜く。
6. 針の先が「0」になる位置で、再度針を差し込む。
7. フタと透明窓を元通り水圧計本体にはめ込む。



* この修復方法はあくまでも「応急処置」です。

「針飛び」は水圧計内部部品の変形が主な原因です。

この場合、針を「見かけ上」0位置に戻しても正確な水圧測定は不可能です。

新しい水圧計を御注文・交換して頂く事をお奨めします。

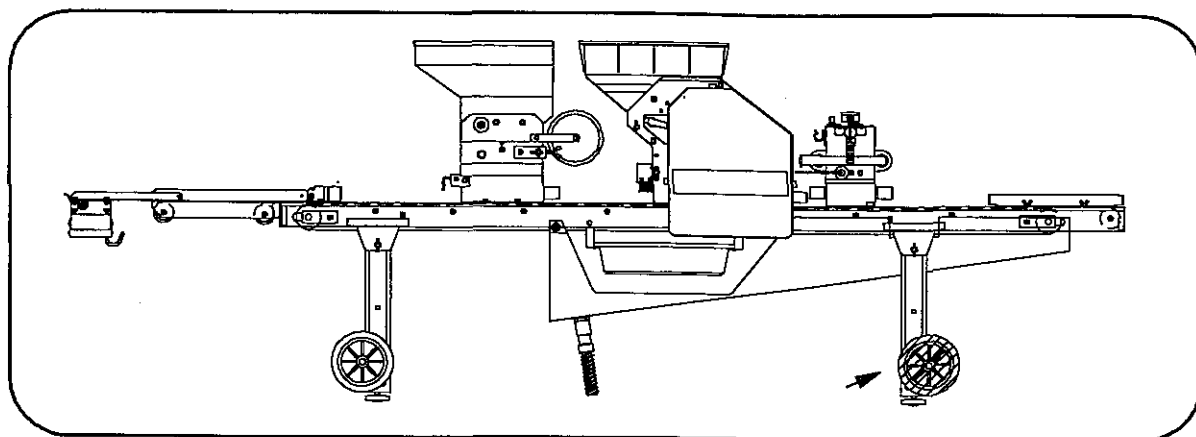
品番：F4147-71201

品名：プレッシャーゲージカンピ

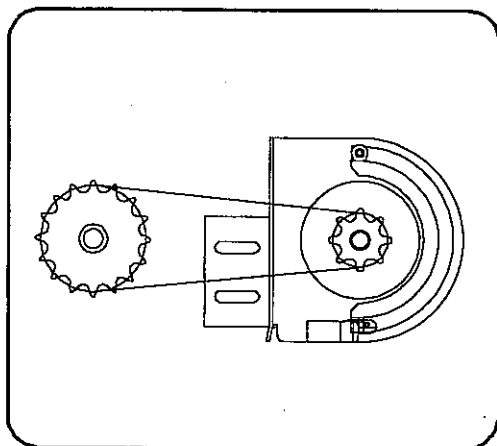
尚、「針飛び」を防止する為には以下の点に注意してください。

- ・ 最大目盛り以上の水圧をかけない事。
- ・ 凍結の恐れがある地域では、室内等の凍結の恐れがない場所でかん水装置を保管する事。

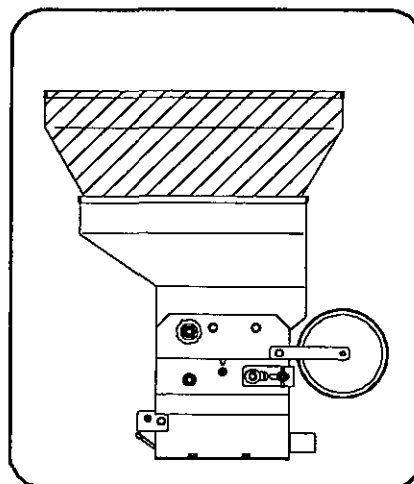
8. アタッチメント紹介



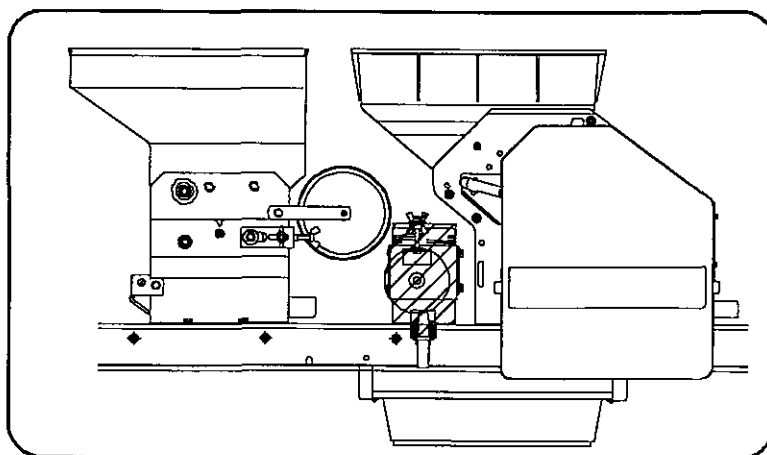
① キャスター
CR-10
播種機移動用車輪



② 薬剤ポンプ
型式コード
F4250-00011(SS-DP125S)
かんすいと同時に薬剤を散布



③ 覆土ホジョホッパー
型式コード
F4235-81101(HH-F13S)
覆土増量用ホッパー



④ 回転ブラシ BC-7
初落とし用回転ブラシ

健苗移植のための播種量、かきとり量、一株本数、所要箱数 早見表

うすまぎオート播種機用												植付密度と10a当たりの所要箱数				
苗	播種量(乾粒)			播種量(催芽粉)			苗立ち 本/箱	田植機力キトリ		植付本数 本/株	40株/坪45株/坪50株/坪60株/坪70株/坪 株間28cm株間24cm株間21cm株間18cm株間16cm					
	g	cc	合	粒数	g	cc		合	粒数		縦	横	18mm	18mm	17mm	16mm
成苗	38	62	0.34	1491	50	80	0.44	1491	1431	16回	平均 2.7	24	27	30	35	41
	45	74	0.41	1789	60	95	0.53	1789	1718		平均 3.3	24	27	30	35	41
	53	87	0.48	2088	70	111	0.62	2088	2004		平均 3.7	23	25	28	33	39
	61	99	0.55	2386	80	127	0.71	2386	2290		平均 4.0	21	23	26	31	36
中苗	68	112	0.62	2684	90	143	0.79	2684	2577	20回	平均 3.5	16	18	20	24	28
	76	124	0.69	2982	100	159	0.88	2982	2863		平均 3.9	16	18	20	24	28
	83	136	0.76	3280	110	175	0.97	3280	3149		平均 3.6	14	16	18	21	25
	91	149	0.83	3579	120	191	1.06	3579	3436	平均 4.0	14	16	18	21	25	
	98	161	0.90	3877	130	207	1.15	3877	3722	平均 4.0	14	16	18	21	25	
稚苗										26回	平均 3.7	12	13	15	18	21
	106	174	0.96	4175	140	223	1.24	4175	4008	26回	平均 4.0	12	13	15	18	21
	114	186	1.03	4473	150	239	1.33	4473	4294		平均 3.7	11	12	13	16	18
	121	198	1.10	4772	160	255	1.42	4772	4581		平均 4.0	11	12	13	16	18
	129	211	1.17	5070	170	270	1.50	5070	4867		平均 3.6	9	10	12	14	16
	136	223	1.24	5368	180	286	1.59	5368	5153		平均 3.8	9	10	11	13	16
	144	236	1.31	5666	190	302	1.68	5666	5440		平均 3.7	8	9	10	12	14
	151	248	1.38	5964	200	318	1.77	5964	5726		平均 3.9	8	9	10	12	14

条件(本表の粉の状態): 乾粒1000粒重=25.4g(水分16%) 催芽粉1000粒重=33.5g(水分28%) 苗立ち歩合は96%で計算

田植機の 縦かきとり量は 9mm, 10mm, 11mm, 12mm, 13mm, 14mm, 15mm, 16mm, 17mm, 18mm, の10段階

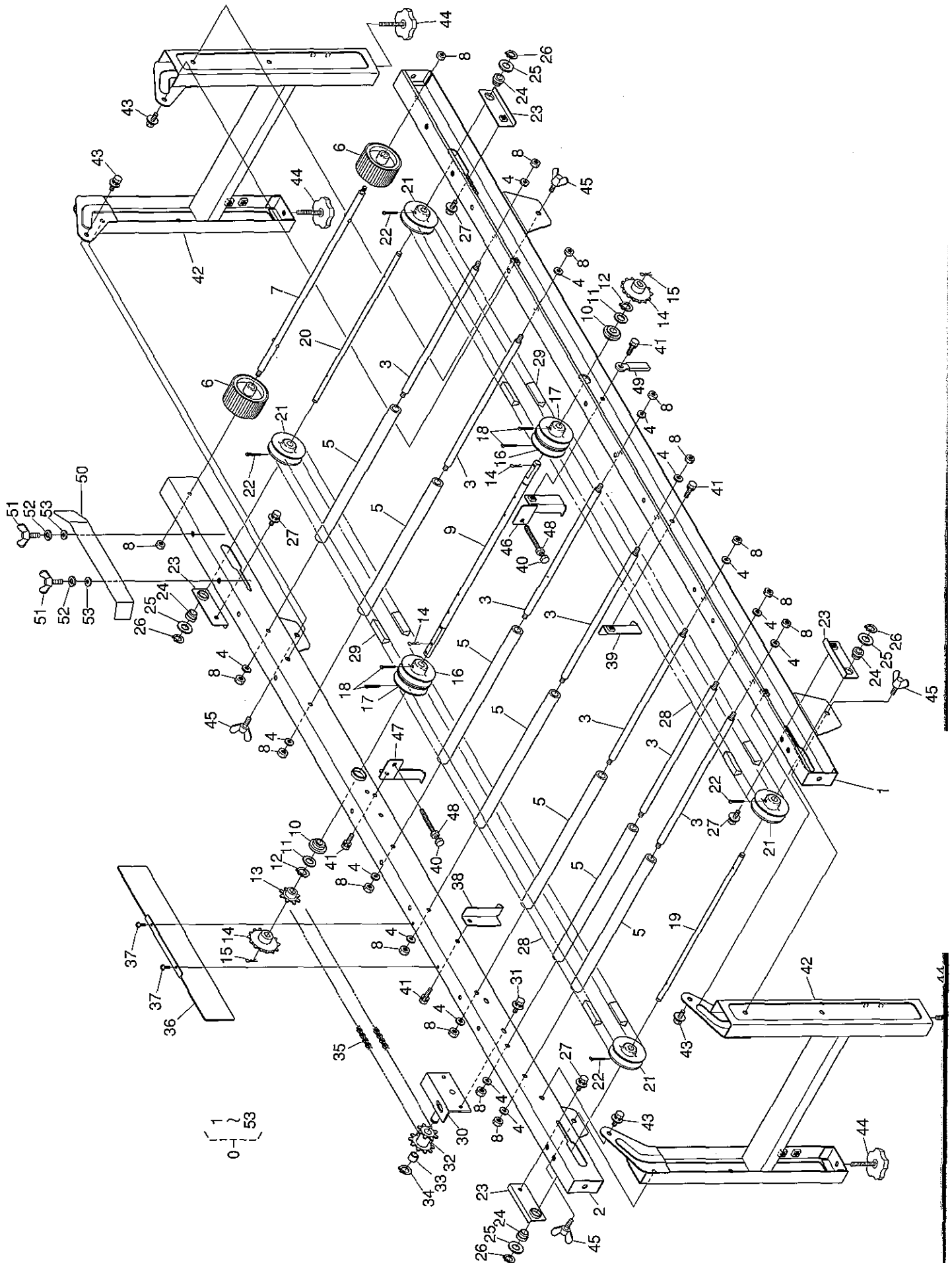
うすまきオート播種機

HK168

純正部品表

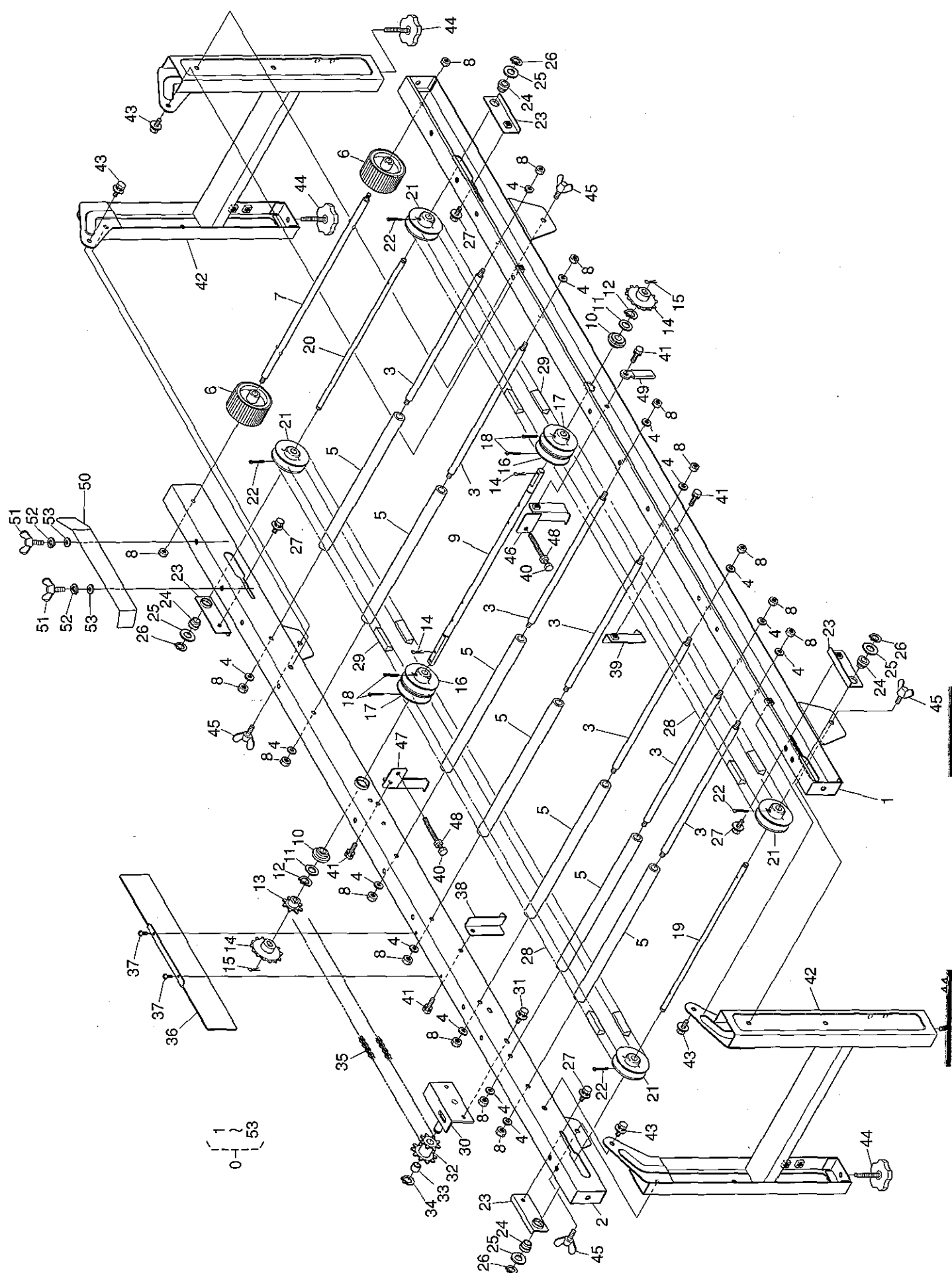
	[ページ]
1. ハンソウフレーム部関係	1
2. ホジョフレーム・ホジョレール・ ハコトリセンサー部関係	5
3. カンスイ部関係	7
4. ハシュ部関係	11
5. フク土部関係	17
6. 附属部品	21

1. ハンソウフレーム関係



品番	コード No.	部 品 名 称	数 量	互換性	備 考
0	F4187-11101	ハンソウフ ^カ ンビ [〃]	1	①~⑤③	
1	F4187-11111	ハンソウフレームヒタ ^リ	1		
2	F4187-11121	ハンソウフレームミギ [〃]	1		
3	F4140-11282	フレームササエジ ^ク	7		
4	04015-50060	ヒラサ ^ガ ネ [〃]	14		
5	F4140-11131	パイプ(ハンソウ)	7		
6	42254-15131	コ口	2		
7	42254-15141	コロシ ^ク	1		
8	02751-50060	フランジナット	16		
9	F4140-11141	クドウジ ^ク	1		
10	42162-41141	12ブッシュ	2		
11	04011-50120	ヒラサ ^ガ ネ [〃]	2		
12	04612-00120	ジクサークリップ [〃]	2		
13	F4140-11151	スプロケット8T	1		
14	F4140-11161	スプロケット14T	2		
15	05516-51200	Bガタスナップピ ^ン	2		
16	42141-11211	60フ ^ー リー12	2		
17	F4184-11131	57フ ^ー リー12	2		
18	05511-50335	ワリピ ^ン	4		
19	F4140-11171	プ ^ー リージ ^ク A	1		
20	F4140-11181	プ ^ー リージ ^ク B	1		
21	42101-12193	60フ ^ー リー	4		
22	05511-50330	ワリピ ^ン	4		
23	F4140-11191	ヘルトチョウセツバン	4		
24	42412-41322	ジクウケブッシュ	4		
25	04013-50100	ヒラサ ^ガ ネ [〃]	4		
26	04612-00100	ジクサークリップ [〃]	4		
27	01021-50612	ダブルセムスボ ^ル ト	4		
28	F4184-11161	ブイヘルトA94	2		
29	F4184-11171	ブイヘルトA62	2		
30	F4140-11212	クドウジ ^ク ササエ	1		
31	01021-50612	ダブルセムスボ ^ル ト	2		
32	F4140-11221	スプロケット8T×10T	1		
33	08511-01010	DUブッシュ	2		
34	04612-00100	ジクサークリップ [〃]	1		
35	F4184-11141	チェーン112リンク	1		
36	F4184-11151	フレームカバー	1		
37	42162-41541	トラスタッピングネジ [〃]	2		
38	F4140-11251	モミウケカナグ [〃] 1ヒタ ^リ	1		
39	F4140-11261	モミウケカナグ [〃] 1ミギ [〃]	1		
40	01222-50650	ボ ^ル ト	2		
41	01754-50610	サ ^ガ ネツキボ ^ル ト	4		
42	F4140-11271	スタント [〃]	2		

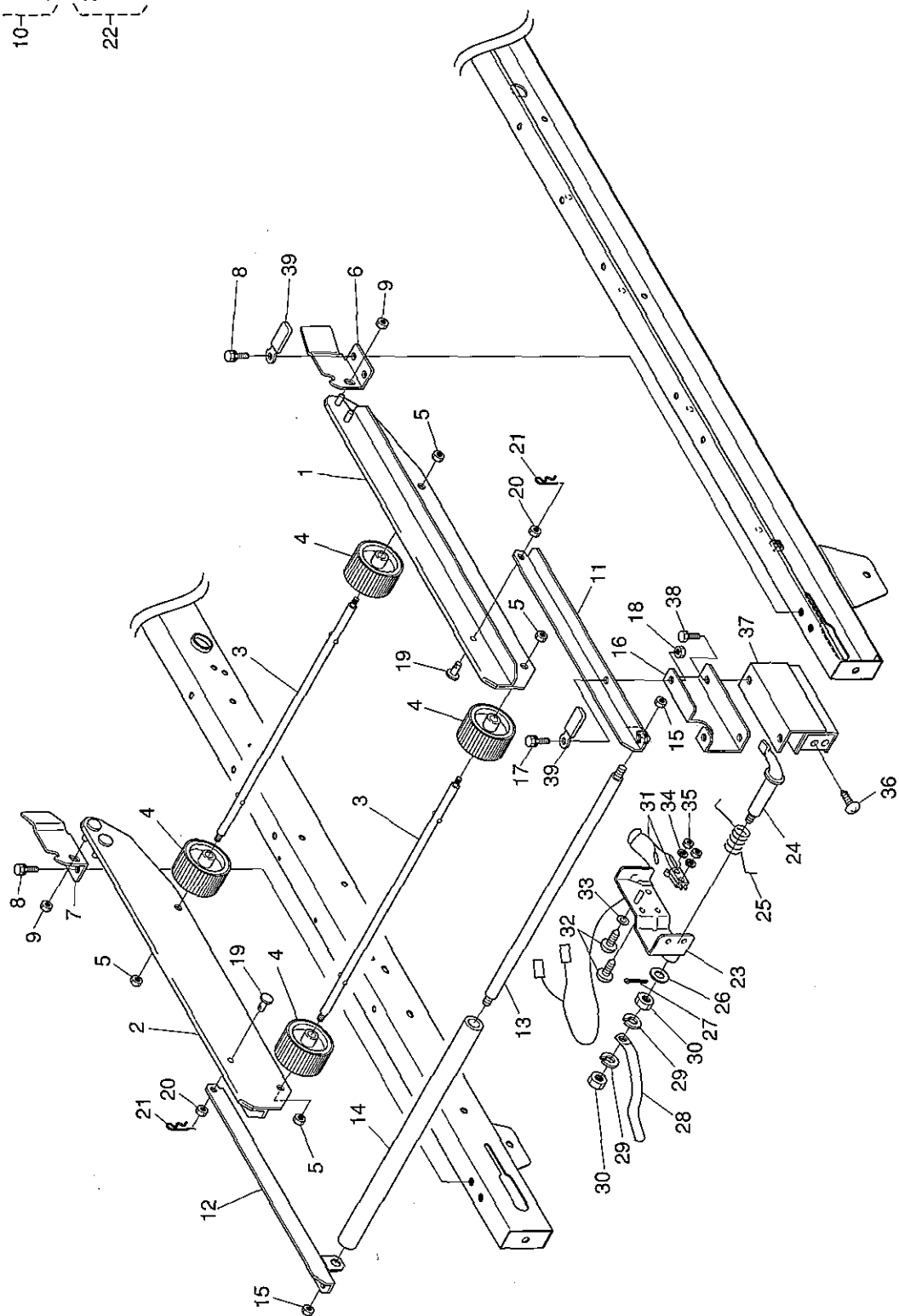
1. ハンソウフレーム関係



[illegible]

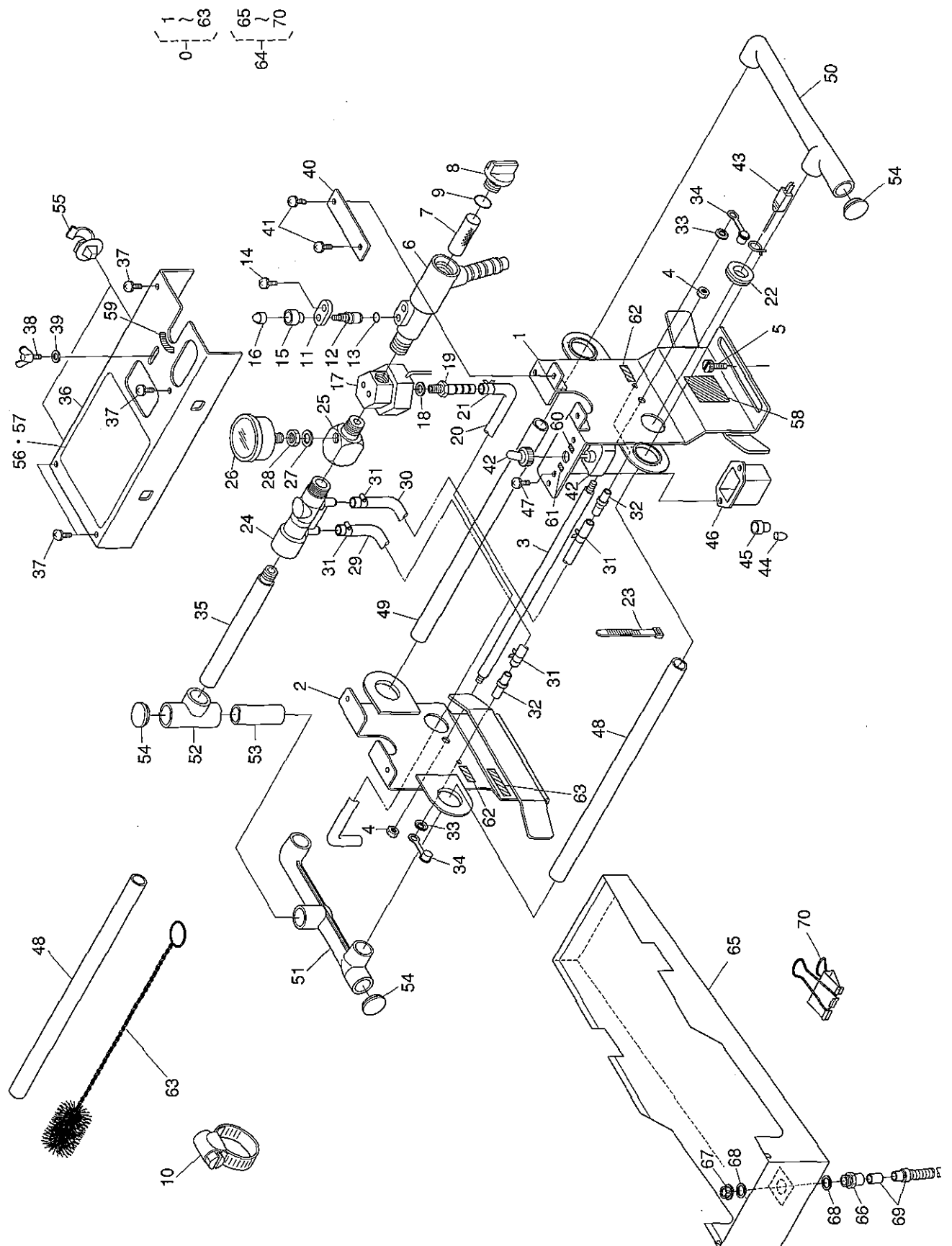
2. ホジヨフレーム・ホジヨレール・ハコトリセンサー部関係

{ 1 } { 9 }
 0 { }
 { 11 } { 21 }
 10 { }
 { 23 } { 38 }
 22 { }



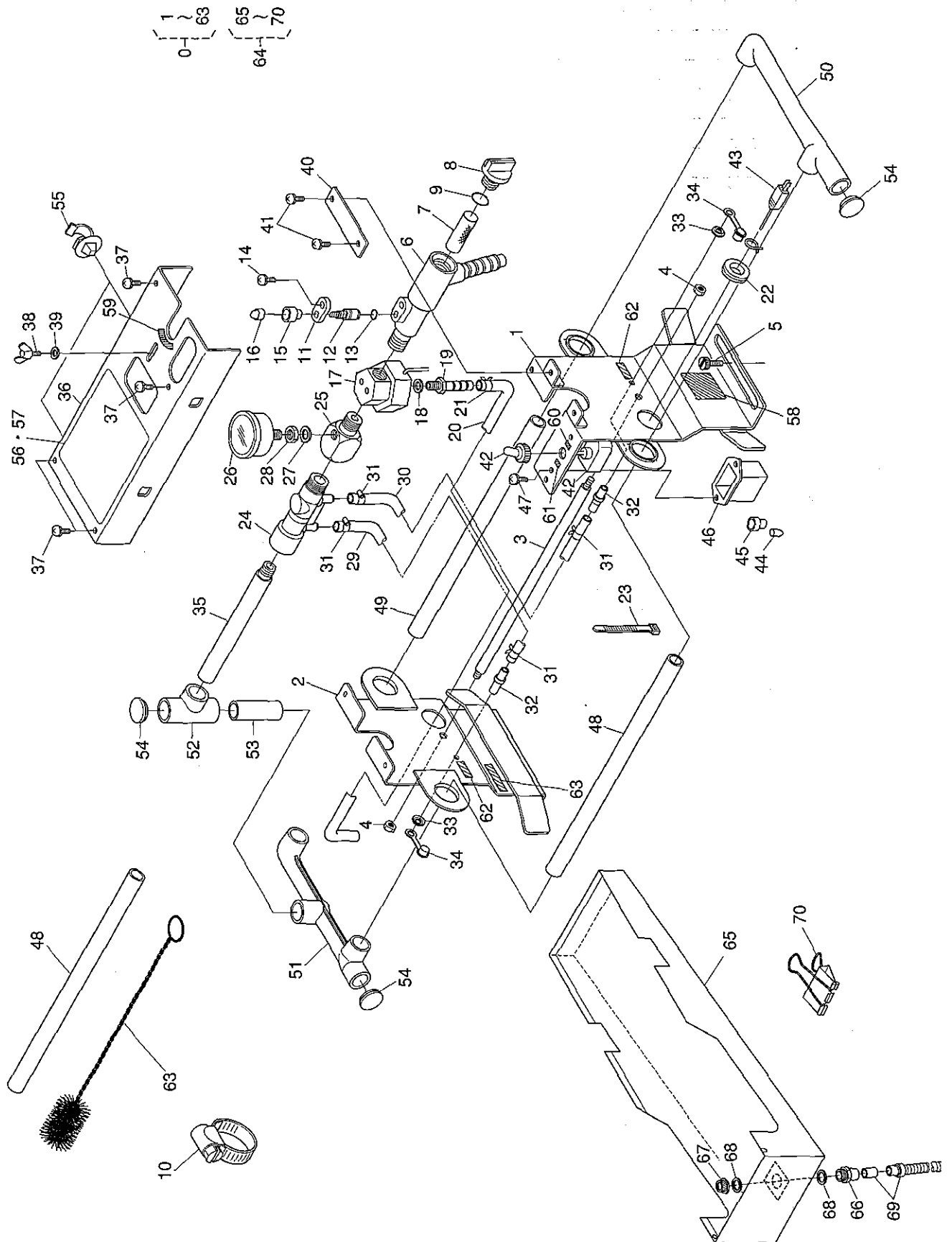
品番	コード No.	部 品 名 称	数 量	互換性	備 考
0	F4184-12101	ホジヨフレームカンビ	1		①～⑨
1	F4140-12112	ホジヨフレームヒタリ	1		
2	F4140-12122	ホジヨフレームミギ	1		
3	42254-15141	コロシク	2		
4	42254-15131	コロ	4		
5	02751-50060	フランジナット	4		
6	F4140-12141	ジョイントヒタリ	1		
7	F4140-12151	ジョイントミギ	1		
8	01754-50610	フランジボルト	4		
9	42221-11381	ユルミトメナット	2		
10	F4184-13101	ホジヨレールカンビ	1		⑪～⑳
11	F4140-82111	ホジヨレールヒタリ	1		
12	F4140-82121	ホジヨレールミギ	1		
13	F4140-11282	フレームササエジク	1		
14	F4140-11131	パイプ(ハンソウ)	1		
15	02751-50060	フランジナット	2		
16	F4140-82131	センサートリツケイタ	1		
17	01202-50612	ザガネツキボルト	2		
18	02014-50060	ナット	2		
19	05122-50612	アタマツキピン	2		
20	02112-50080	ナット	2		
21	05525-50600	スナップピン	2		
22	F4184-18101	ハコトリセンサーカンビ	1		㉓～㉘
23	42264-18112	スイッチベース	1		
24	F4214-81111	シテンジク	1		
25	F4214-81121	スイッチバネ	1		
26	04013-50080	ヒラザガネ	1		
27	05511-50215	ワリピン	1		
28	F4214-81131	スイッチレバー	1		
29	04512-50080	バネサガネ	2		
30	02114-50080	ナット	2		
31	F4184-18111	リミットスイッチカンビ	1		
32	03054-50318	ナベコネジ	2		
33	04013-50030	ヒラザガネ	1		
34	04512-50030	バネサガネ	2		
35	02054-50030	ナット	2		
36	03614-50408	タッピングネジ	4		
37	F4149-18111	スイッチトリツケハンC	1		
38	01053-50620	ボルト	2		
39	34150-34482	コートクランプ	2		

3. カンスイ部関係



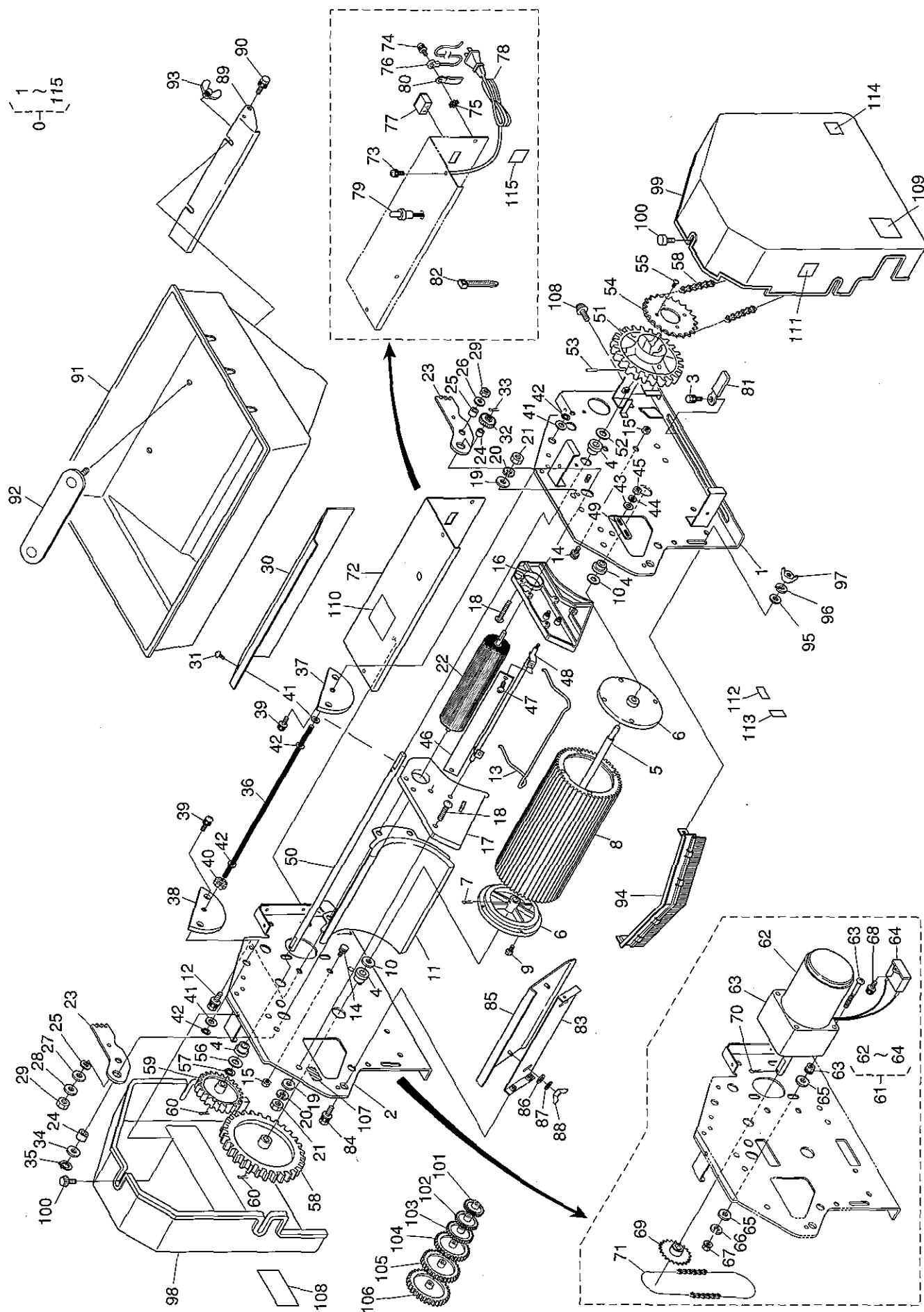
品番	コード No.	部 品 名 称	数 量	互換性	備 考
0	F4187-61101	カンスイブ`カンビ`	1		①～⑥③
1	F4137-61112	カンスイスタント`ヒダリ`	1		
2	F4137-61122	カンスイスタント`ミギ`	1		
3	F4102-61131	カンスイツナギ`シク`	1		
4	02751-50060	フランジ`ナット`	2		
5	F4112-11151	フレーム`ボルト`	2		
6	F4102-61141	ストレーナー`	1		
7	F4102-61151	コシ`アミ`	1		
8	F4102-61161	ストレーナー`キャップ`	1		
9	04811-00200	オーリング`	1		
10	F4102-61171	ホース`バンド`	2		
11	F4102-61181	コックトリツケ`ダイ`	1		
12	F4102-61191	ヘ`ン`	1		
13	04811-00060	オーリング`	1		
14	03034-50414	ダ`ブル`セム`ス`コネジ`	1		
15	F4102-61212	ツマミ`	1		
16	02054-50040	ナット`	1		
17	42276-61181	3ポ`ート`テン`ジ`ヘ`ン`	1		
18	04811-00060	オーリング`	1		
19	F4102-61232	オーバ`ーフロー`セツシュ`	1		
20	42276-61321	オーバ`ーフロー`パイプ`	1		
21	09318-88115	ホース`バンド`	1		
22	42265-61211	ゴ`ム`ブ`ツシュ`16`	1		
23	42265-42181	SK`ハ`イン`ダー`	3		
24	F4147-71111	ノス`ル`カンビ`	1		
25	F4147-71121	ゲ`ー`ジ`ダイ`	1		
26	F4147-71211	プ`レ`ッ`シャ`ー`ゲ`ー`ジ`	1		
27	08330001000	シール`ワッ`シャ`ー`	1		
28	F4102-61441	クダ`ヨウ`ナット`	1		
29	F4102-61251	キュウ`ニユウ`ホース`	1		
30	F4144-61131	キュウ`ニユウ`ホース` (2)`	1		
31	09318-88055	ホース`バンド`	4		
32	F4102-61261	セツシュ`	2		
33	DES23005000	ブ`ツシュ`ナット`	2		
34	F4102-61271	ゴ`ム`キャップ`	2		
35	F4147-71131	カンスイ`ツキ`テ`	1		
36	PH922-61131	カンスイ`カバー`	1		
37	F4164-41311	トラス`タッピ`ン`ネジ`	4		
38	01811-50510	チョウ`ボルト`	1		
39	04015-50050	ヒラサ`ガ`ネ`	1		
40	PH922-61141	オサエ`カ`ナグ`	1		
41	F4164-41311	トラス`タッピ`ン`ネジ`	2		
42	F4102-61331	スイツチ`	1		
43	F4134-71131	カンスイ`コード`	1		

3. カンスイ部関係



[illegible]

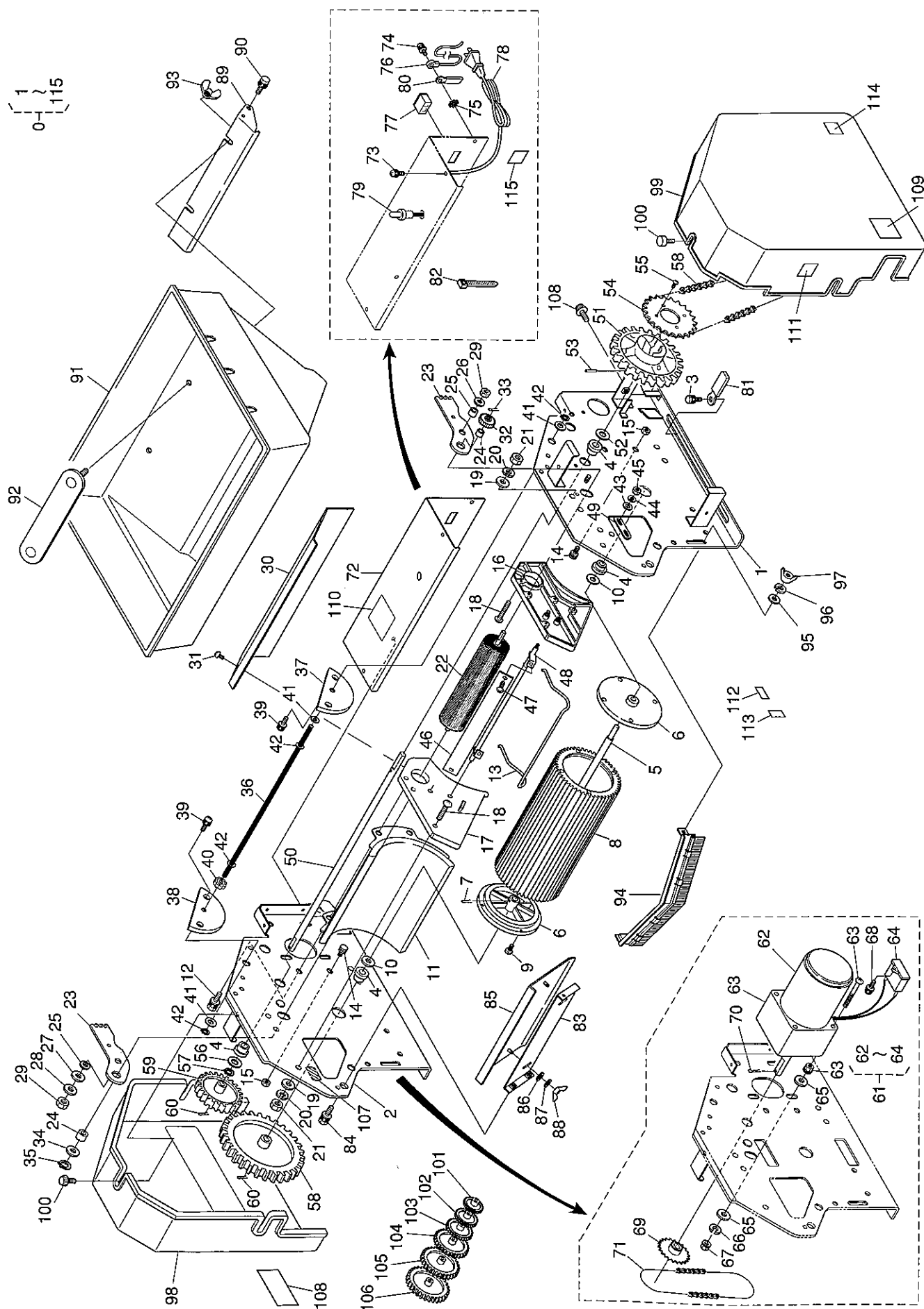
4. ハッシュ部関係



HK168

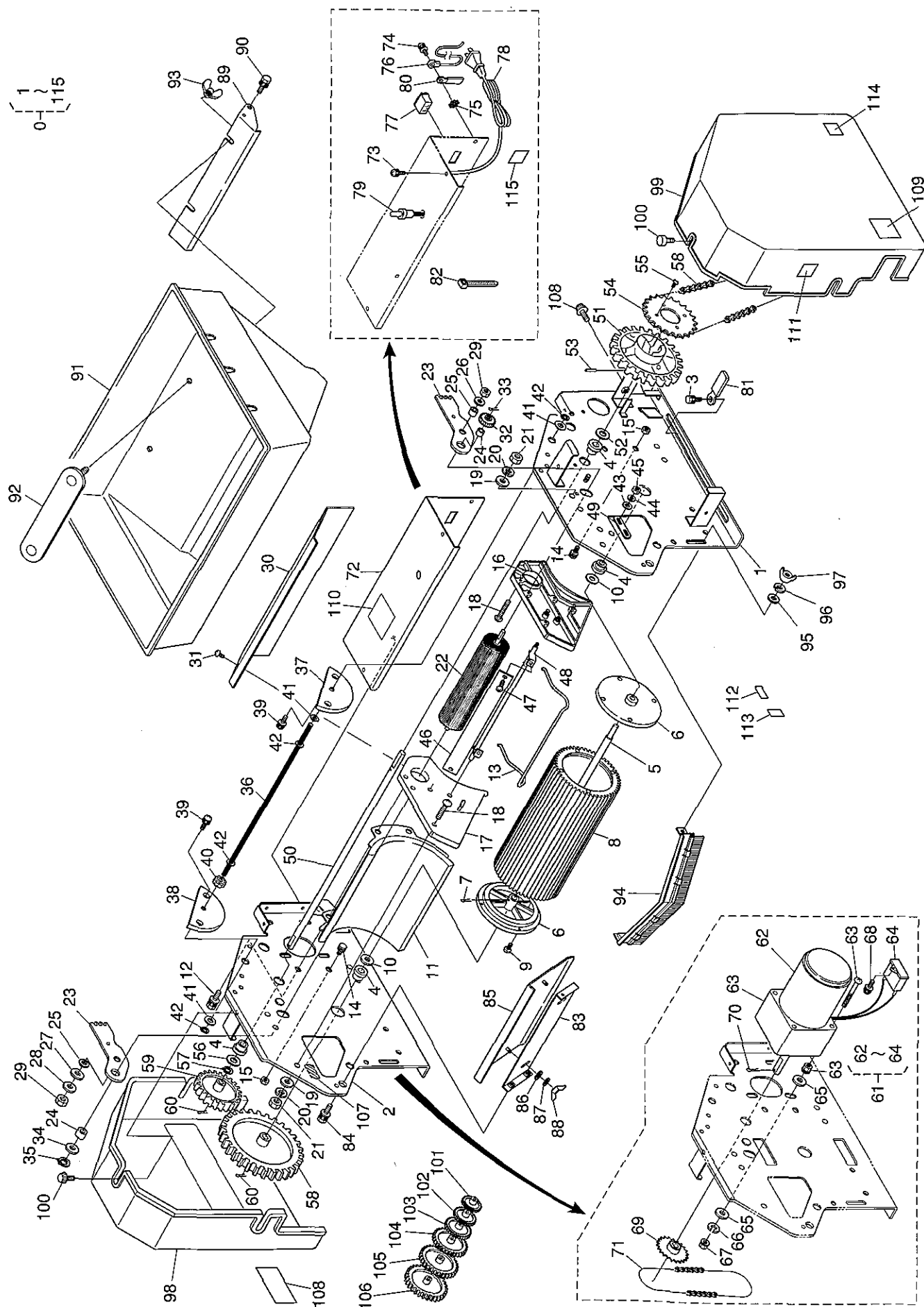
品番	コード No.	部 品 名 称	数 量	互換性	備 考
0	F4187-41101	ハシュアカンビ	1		①～⑪⑮
1	F4148-41114	ハシュスタントヒタリ	1		
2	F4184-41121	ハシュスタントミギ	1		
3	01754-50810	フランジホルト	4		
4	42162-41141	12フツシュ	4		
5	42162-41151	ロールジク	1		
6	42162-41161	ロールフランジ	2		
7	05511-50330	ワリピン	1		
8	42248-41282	ハシュロール	1		
9	TH410-CM-P	Pタイト(トラス4×10)	8		
10	04013-50120	ヒラザガネ	2		
11	F4150-41161	ロールガイド	1		
12	01754-50610	フランジホルト	4		
13	42248-41271	モミオトシバネA	1		
14	42248-41261	バネシテンピンA	4		
15	02751-50060	フランジナット	4		
16	F4112-41133	モミガイドヒタリ	1		
17	F4101-41163	モミガイドミギ	1		
18	DES0150625	トラスコネジ	6		
19	04013-50060	ヒラザガネ	6		
20	04512-50060	バネザガネ	6		
21	02014-50060	ナット	6		
22	F4164-41281	エントウフラス	1		
23	F4164-41271	チョウセツアーム	2		
24	42412-41322	ジクウケフツシュ	2		
25	42421-41181	アームカラー	2		
26	04013-50060	ヒラザガネ	1		
27	F4101-41281	サラバネ	1		
28	04015-50060	ヒラザガネ	1		
29	42221-11381	ユルミメナット	2		
30	42162-41311	ブラシカバー	1		
31	F4157-41111	クリップ	2		
32	42162-41281	19Tキヤ	1		
33	05511-52518	ワリピン	1		
34	04013-50100	ヒラザガネ	1		
35	04612-00100	ジクサークリップ	1		
36	F4140-41121	ハシュチョウセツジク	1		
37	F4140-41291	チョウセツハンヒタリ	1		
38	42162-42181	チョウセツハンミギ	1		
39	03034-50616	ダブルセムスコネジ	4		
40	F4101-41171	ダイヤル2	1		
41	04013-50080	ヒラザガネ	3		
42	04612-00080	ジクサークリップ	4		
43	04013-50080	ヒラザガネ	1		

4. ハッシュ部関係



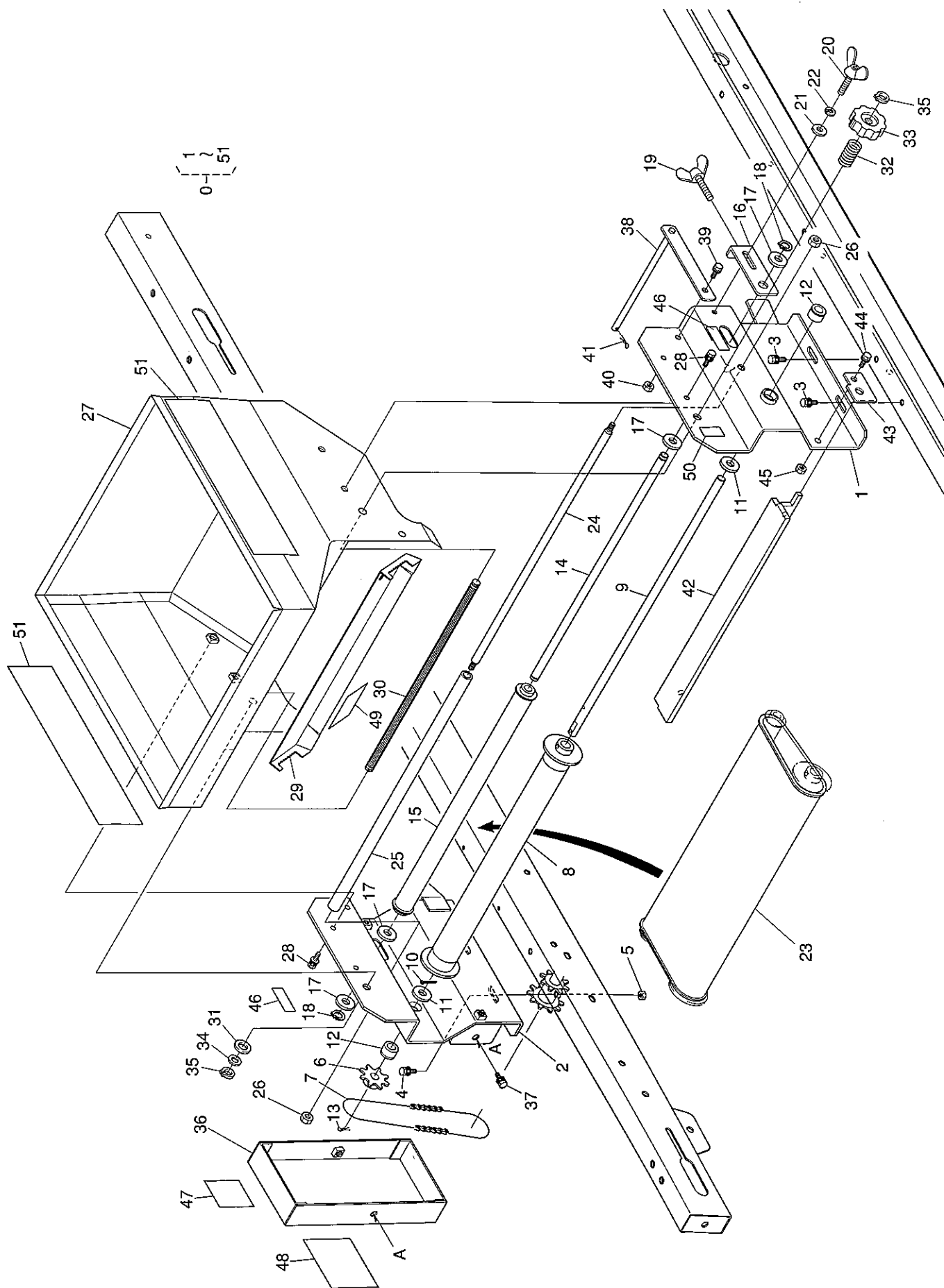
品番	コード No.	部 品 名 称	数 量	互換性	備 考
44	04512-50080	ハネサガネ	1		
45	02114-50080	ナット	1		
46	F4101-41181	モミゲート	1		
47	DES0150510	トラスコネジ	2		
48	F4101-41191	モミゲートシテンジク	1		
49	F4112-41121	モミゲートコティイタA	1		
50	F4140-41281	ハシクドウジク	1		
51	42164-41221	61Tギヤ	1		
52	42164-41121	スラストワッシャー	2		
53	05411-00440	スプリングピン	1		
54	F4140-41241	22Tスプロケット	1		
55	TH410-CM-P	Pタイト(トラス4×10)	4		
56	04612-00120	ジクサークリップ	1		
57	F4140-41151	チェーン57リンク	1		
58	42162-41341	62Tギヤ	1		
59	42162-41351	44Tギヤ	1		
60	05516-51200	Bガタスナッフピン	2		
61	F4140-42101	ギヤードモータカンビ	1	⑥2～⑥4	
62	F4140-42111	モーターカバー40W	1		
63	F4140-42121	ギヤヘッド1/180	1		
64	F4140-42131	コンデンサー	1		
65	04013-50060	ヒラサガネ	8		
66	04512-50060	ハネサガネ	4		
67	02014-50060	ナット	4		
68	03034-50410	ダブルセムスコネジ	1		
69	F4140-41161	スプロケット12T(モータ)	1		
70	05516-51200	Bガタスナッフピン	1		
71	42421-32281	38リンクチェーン	1		
72	F4133-41111	モータカバー	1		
73	F4164-41291	トラスタッピンネジ	3		
74	F4164-41311	トラスタッピンネジ	1		
75	04412-90040	ハツキサガネ	1		
76	43831-41121	アースコード	1		
77	80910-18922	コンセント	1		
78	F4140-41181	デンゲンハーネスカンビ	1		
79	42202-41131	スイッチ	1		
80	34150-34482	コードクランプ	1		
81	34150-29391	コードクランプ	1		
82	42265-42181	SKバインダー	3		
83	F4150-41121	モミシュート	1		
84	01205-50612	ダブルセムスホルト	4		
85	F4150-41131	シュートプレート	1		
86	04013-50060	ヒラサガネ	2		
87	04512-50060	ハネサガネ	2		

4. ハッシュ部関係



[illegible]

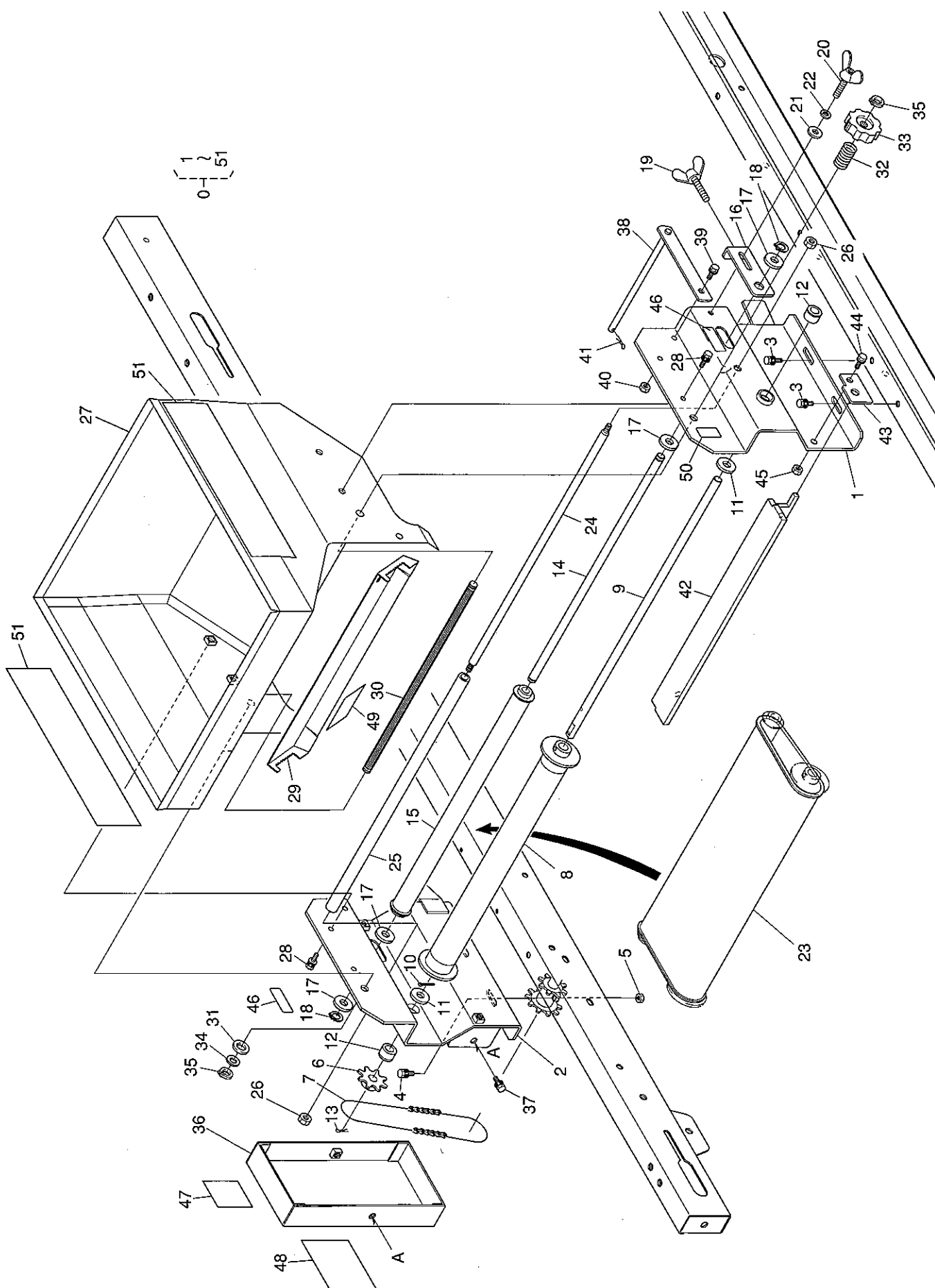
5. フク土部関係



HK168

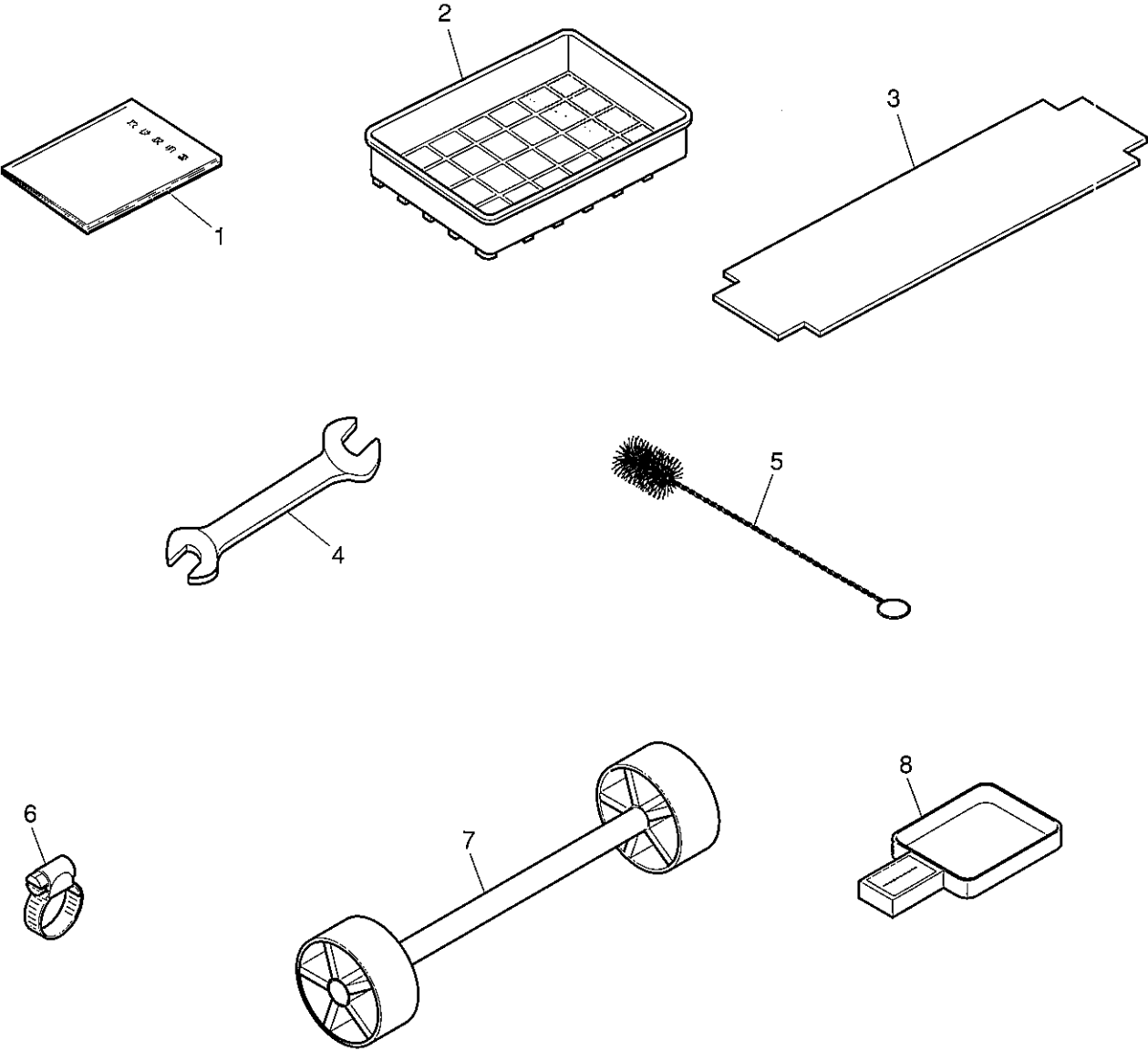
品番	コード No.	部 品 名 称	数 量	互換性	備 考
0	F4187-51101	フクト [°] フ [°] カンビ [°]	1		①～⑤①
1	F4184-51111	フクト [°] スタンド [°] ヒタリ	1		
2	F4184-51121	フクト [°] スタンド [°] ミギ [°]	1		
3	01754-50610	フランジ [°] ボルト	3		
4	01021-50616	ダブルセムスボルト	1		
5	02751-50060	フランジ [°] ナット	1		
6	42415-82121	ハンソウス [°] プロケット8T	1		
7	F4140-51261	チェーン33リンク	1		
8	F4140-52101	クド [°] ウト [°] ラムカンビ [°]	1		
9	F4140-51132	クド [°] ウト [°] ラムジク	1		
10	05511-50330	ワリピン	1		
11	04013-50100	ヒラサ [°] ガ [°] ネ	2		
12	42412-41322	ジクウケ [°] ブ [°] ッシュ	2		
13	05516-50800	Bガ [°] タスナツ [°] ピン	1		
14	F4140-51141	ジク(テール [°] ト [°] ラム)	1		
15	F4140-51271	テール [°] ト [°] ラムカンビ [°]	1		
16	F4184-51171	ステー(ヘル [°] ト [°] ハリ)	2		
17	04013-50100	ヒラサ [°] ガ [°] ネ	4		
18	04612-00100	ジクサー [°] クリップ [°]	2		
19	01811-50630	チョウ [°] ボルト	2		
20	01811-50615	チョウ [°] ボルト	2		
21	04013-50060	ヒラサ [°] ガ [°] ネ	2		
22	04512-50060	ハ [°] ネサ [°] ガ [°] ネ	2		
23	F4140-51171	クリ [°] タ [°] シ [°] ヘル [°] ト	1		
24	F4140-51181	ジク(フクト [°] スタンド [°] ササエ)	1		
25	F4140-51191	ササエ [°] パイ [°] フ(フクト [°])	1		
26	02751-50060	フランジ [°] ナット	2		
27	F4146-31133	フクト [°] ホツ [°] パー	1		
28	01754-50610	フランジ [°] ボルト	4		
29	F4146-31141	ツチ [°] ゲート	1		
30	F4146-31151	チョウセツ [°] ジク(フクト [°])	1		
31	42141-42132	ゴム [°] パ [°] ッキン	1		
32	42135-40751	ハ [°] ネヒタリ	1		
33	F4101-41171	ダイヤル2	1		
34	04013-50080	ヒラサ [°] ガ [°] ネ	1		
35	04612-00080	ジクサー [°] クリップ [°]	2		
36	F4140-51231	チェーン [°] カ [°] パー	1		
37	01202-50614	サ [°] ガ [°] ネツキ [°] ボルト	2		
38	F4140-51241	ギ [°] ヤ [°] ホルダー	1		
39	01754-50612	フランジ [°] ボルト	1		
40	02751-50060	フランジ [°] ナット	1		
41	05516-50800	Bガ [°] タスナツ [°] ピン	1		
42	F4146-31161	スクレー [°] パ [°] (フクト [°])	1		
43	F4146-31171	スクレー [°] パ [°] ササエ	2		

5. フク土部関係



[illegible]

6. 附属部品



HK160

品番	コード No.	部 品 名 称	数 量	互換性	備 考
0	F4187-71101	フゾクブヒンカンビ	1s		①～⑥
1	F4187-71111	トリアツカイセツメイシヨ	1		
2	42267-11241	モミウケ	1		
3	F4148-91121	ナラシイタ	1		
4	07012-11012	マルガタリヨウグチスバナ	1		
5	42421-91121	パイプクリーナ	1		カンスイ部に組付け
6	F4102-61171	ホースバンド	2		カンスイ部に組付け
7	F4135-71131	キャスターカンビ	1		
8	F4135-71121	ケイリヨウキカンビ	1		

実り豊かな明日をひらく

株式会社 スズテック

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地44-3
代 表／TEL.028(664)1111 FAX.028(662)5592
URL <http://www.suzutec.co.jp>